

大学番号 082

注3

設置年度 平成 30年度
計画の区分： 学部^{注1}の設置

事前伺い

琉球大学 人文社会学部 人間社会学科
注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人琉球大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総合企画戦略部経営戦略課

職名・氏名 係長 ^{クマモト}隈元 ^{シンヤ}伸耶

電話番号 098-895-8105

（夜間） 098-895-8105

e-mail kskikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

人文社会学部

<人間社会学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	32
4. 既設大学等の状況	33
5. 教員組織の状況	36
6. 附帯事項等に対する履行状況等	49
7. その他全般的事項	50

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 琉球大学

(2) 大学名

琉球大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オオシロ ハジメ) 大城 肇 (平成25年4月1日)	(ニシダ ムツミ) 西田 睦 (平成31年4月1日)	平成31年3月31日付けで大城肇学長が任期満了により退任し、平成31年4月1日付けで西田睦学長が就任(元)
学部長	(ホシノ エイチ) 星野 英一 (平成30年4月1日)	(アンドウ ヨシミ) 安藤 由美 (平成31年4月1日)	平成31年3月31日付けで星野英一学部長が定年退職により退任し、平成31年4月1日付けで安藤由美学部長が就任(元)
学科長	(ハセガワ ユタカ) 長谷川 裕 (平成30年4月1日)	(モトムラ マコト) (ハタケナカ ユウヘイ) (クダカ マサアキ) 本村 真 畠中 雄平 久高 将晃 (平成31年4月1日) (令和2年4月1日) (令和3年4月1日)	平成31年3月31日付けで長谷川裕学科長が任期満了により退任し、平成31年4月1日付けで本村真学科長が就任(元)令和2年3月31日付けで本村真学科長が退任し、令和2年4月1日付けで畠中雄平学科長が就任(2)令和3年3月31日付けで畠中雄平学科長が退任し、令和3年4月1日付けで久高将晃学科長が就任(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員		
人文社会学部 人間社会学科 学士(人文社会)	文学関係 社会学・社会 福祉学関係	4年	80人	3年次 4人	328人	新規入学者を 募集中

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	平成29年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	80人 80 [—]	— (—) [—]	80人 80 [—]	— (—) [—]	80人 80 [—]	— (4) [—]	80人 80 [—]	— (4) [—]	1.01倍	— 倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	370 (—) [8]	— (—) [—]	308 (—) [8]	— (—) [—]	312 (5) [13]	— (—) [—]	380 (6) [15]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	246 (—) [6]	— (—) [—]	203 (—) [5]	— (—) [—]	216 (5) [10]	— (—) [—]	253 (6) [7]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	86 (—) [0]	— (—) [—]	88 (—) [0]	— (—) [—]	87 (1) [1]	— (—) [—]	86 (2) [1]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	82 (—) [0]	— (—) [—]	80 (—) [0]	— (—) [—]	83 (1) [1]	— (—) [—]	80 (2) [1]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		1.02		1.00		1.03		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	平成29年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次			82 [-] (-)	- [-] (-)	81 [-] (-)	- [-] (-)	83 [1] (-)	- [-] (-)	80 [1] (-)	- [-] (-)	令和元年度1年次81人のうち、平成30年度入学後に休学し、令和元年度より復学した学生1人を含む。(元) 令和3年度3年次に編入学生2名(3)
2年次					81 [-] (-)	- [-] (-)	79 [-] (-)	- [-] (-)	85 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次							80 [-] (-)	- [-] (-)	79 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次									77 [-] (-)	- [-] (-)	
計			82 [-] (-)		162 [-] (-)		242 [1] (-)		321 [1] (-)		

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	82 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	162 人	3 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和元年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学(1人)、就学意欲の低下(1人)
令和2年度	242 人	1 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	1 人	1 人	[除籍(1人)]
令和3年度	321 人	1 人	平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	— 人	除籍(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		5 人		5 人	1 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{162} = \boxed{1.85} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{242} = \boxed{0.41} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{321} = \boxed{0.31} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基幹領域	外国語科目	英会話演習 上級	1-2-3-4	2							兼1
		英作文演習 中級	1-2-3-4	2							兼1
		英作文演習 上級	1-2-3-4	2							兼1
		英語プレゼンテーション演習中級	1-2-3-4	2							兼1
		英語プレゼンテーション演習上級	1-2-3-4	2							兼1
		TOEIC演習	1-2-3-4	2							兼1
		TOEFL演習	1-2-3-4	2							兼1
		英検準1級演習	1-2-3-4	2							兼1
		特定英語課題演習 I	1-2-3-4	2							兼1
		特定英語課題演習 II	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語入門 I	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語入門 II	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語入門 III	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語入門 IV	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語会話入門 I	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語会話入門 II	1-2-3-4	2							兼1
		インテンシブドイツ語 I	1-2-3-4	4							兼1
		インテンシブドイツ語 II	1-2-3-4	4							兼1
		インテンシブドイツ語 III	1-2-3-4	2							兼1
		インテンシブドイツ語 IV	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語圏文化入門	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語入門 I	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語入門 II	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語入門 III	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語入門 IV	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語会話入門 I	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語会話入門 II	1-2-3-4	2							兼1
		インテンシブフランス語 I	1-2-3-4	4							兼1
		インテンシブフランス語 II	1-2-3-4	4							兼1
		インテンシブフランス語 III	1-2-3-4	2							兼1
		インテンシブフランス語 IV	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語圏文化入門	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語入門 I	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語入門 II	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語入門 III	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語入門 IV	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語会話入門 I	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語会話入門 II	1-2-3-4	2							兼1
		インテンシブスペイン語 I	1-2-3-4	4							兼1
		インテンシブスペイン語 II	1-2-3-4	4							兼1
		インテンシブスペイン語 III	1-2-3-4	2							兼1
		インテンシブスペイン語 IV	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語圏文化入門	1-2-3-4	2							兼1
		中国語基礎 I	1-2-3-4	4							兼1
		中国語基礎 II	1-2-3-4	4							兼1
中国語中級	1-2-3-4	4							兼1		
中国語講読	1-2-3-4	2							兼1		
中国語演習	1-2-3-4	2							兼1		
中国語上級	1-2-3-4	2							兼1		
中国語特演	1-2-3-4	2							兼1		
中国語会話	1-2-3-4	2							兼1		
時事中国語	1-2-3-4	2							兼1		
中国語作文	1-2-3-4	2							兼1		
実践中国語	1-2-3-4	2							兼1		
朝鮮語基礎 I	1-2-3-4	4							兼1		
朝鮮語基礎 II	1-2-3-4	4							兼1		
朝鮮語中級	1-2-3-4	4							兼1		
朝鮮語講読	1-2-3-4	2							兼1		
朝鮮語演習	1-2-3-4	2							兼1		
インドネシア語基礎 I	1-2-3-4	4							兼1		
インドネシア語基礎 II	1-2-3-4	4							兼1		
タイ語基礎 I	1-2-3-4	4							兼1		
タイ語基礎 II	1-2-3-4	4							兼1		
ヴェトナム語基礎 I	1-2-3-4	4							兼1		
ヴェトナム語基礎 II	1-2-3-4	4							兼1		
ヴェトナム語中級	1-2-3-4	4							兼1		
ラテン語入門 I	1-2-3-4	2							兼1		
ラテン語入門 II	1-2-3-4	2							兼1		
ギリシャ語入門 I	1-2-3-4	2							兼1		
ギリシャ語入門 II	1-2-3-4	2							兼1		
ロシア語入門 I	1-2-3-4	2							兼1		
ロシア語入門 II	1-2-3-4	2							兼1		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基幹領域	外国語科目	英会話演習 上級	1-2-3-4	2							兼1
		英作文演習 中級	1-2-3-4	2							兼1
		英作文演習 上級	1-2-3-4	2							兼1
		英語プレゼンテーション演習中級	1-2-3-4	2							兼1
		英語プレゼンテーション演習上級	1-2-3-4	2							兼1
		TOEIC演習	1-2-3-4	2							兼1
		TOEFL演習	1-2-3-4	2							兼1
		英検準1級演習	1-2-3-4	2							兼1
		特定英語課題演習 I	1-2-3-4	2							兼1
		特定英語課題演習 II	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語入門 I	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語入門 II	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語入門 III	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語入門 IV	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語会話入門 I	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語会話入門 II	1-2-3-4	2							兼1
		インテンシブドイツ語 I	1-2-3-4	4							兼1
		インテンシブドイツ語 II	1-2-3-4	4							兼1
		インテンシブドイツ語 III	1-2-3-4	2							兼1
		インテンシブドイツ語 IV	1-2-3-4	2							兼1
		ドイツ語圏文化入門	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語入門 I	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語入門 II	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語入門 III	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語入門 IV	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語会話入門 I	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語会話入門 II	1-2-3-4	2							兼1
		インテンシブフランス語 I	1-2-3-4	4							兼1
		インテンシブフランス語 II	1-2-3-4	4							兼1
		インテンシブフランス語 III	1-2-3-4	2							兼1
		インテンシブフランス語 IV	1-2-3-4	2							兼1
		フランス語圏文化入門	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語入門 I	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語入門 II	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語入門 III	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語入門 IV	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語会話入門 I	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語会話入門 II	1-2-3-4	2							兼1
		インテンシブスペイン語 I	1-2-3-4	4							兼1
		インテンシブスペイン語 II	1-2-3-4	4							兼1
		インテンシブスペイン語 III	1-2-3-4	2							兼1
		インテンシブスペイン語 IV	1-2-3-4	2							兼1
		スペイン語圏文化入門	1-2-3-4	2							兼1
		中国語基礎 I	1-2-3-4	4							兼1
		中国語基礎 II	1-2-3-4	4							兼1
中国語中級	1-2-3-4	4							兼1		
中国語講読	1-2-3-4	2							兼1		
中国語演習	1-2-3-4	2							兼1		
中国語上級	1-2-3-4	2							兼1		
中国語特演	1-2-3-4	2							兼1		
中国語会話	1-2-3-4	2							兼1		
時事中国語	1-2-3-4	2							兼1		
中国語作文	1-2-3-4	2							兼1		
実践中国語	1-2-3-4	2							兼1		
朝鮮語基礎 I	1-2-3-4	4							兼1		
朝鮮語基礎 II	1-2-3-4	4							兼1		
朝鮮語中級	1-2-3-4	4							兼1		
朝鮮語講読	1-2-3-4	2							兼1		
朝鮮語演習	1-2-3-4	2							兼1		
インドネシア語基礎 I	1-2-3-4	4							兼1		
インドネシア語基礎 II	1-2-3-4	4							兼1		
タイ語基礎 I	1-2-3-4	4							兼1		
タイ語基礎 II	1-2-3-4	4							兼1		
ヴェトナム語基礎 I	1-2-3-4	4							兼1		
ヴェトナム語基礎 II	1-2-3-4	4							兼1		
ヴェトナム語中級	1-2-3-4	4							兼1		
ラテン語入門 I	1-2-3-4	2							兼1		
ラテン語入門 II	1-2-3-4	2							兼1		
ギリシャ語入門 I	1-2-3-4	2							兼1		
ギリシャ語入門 II	1-2-3-4	2							兼1		
ロシア語入門 I	1-2-3-4	2							兼1		
ロシア語入門 II	1-2-3-4	2							兼1		

【認可時又は届出時】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数 (必修, 選択, 自由), 専任教員等の配置 (教授, 准教授, 講師, 助教, 助手), 兼任・兼任. Includes sub-totals for 34 subjects.

【令和3年度】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数 (必修, 選択, 自由), 専任教員等の配置 (教授, 准教授, 講師, 助教, 助手), 兼任・兼任. Includes sub-totals for 36 subjects.

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	加齢と障害に関する理解	4後		4			1					兼1
	マス・コミ調査分析	2前		2			1					
	マスコミュニケーション理論	2後		2			1					
	映像論	2前		2					1			
	情報と社会Ⅰ	3前		2			1					
	情報と社会Ⅱ	3後		2			1					
	新聞英語Ⅰ	2前		2					1			
	新聞英語Ⅱ	2後		2					1			
	大衆文化論	3後		2					1			
	マス・コミ特殊講義Ⅰ	2前		2			1					
小計(58科目)			-	8	112		4	3	1			
専門教育科目合計 (153科目)				44	264		9	9	1			

卒業要件及び履修方法

哲学・教育学プログラム：
必修科目18単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目から70単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：40単位(年間))

心理学プログラム：
必修科目30単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目から58単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：40単位(年間))

社会学プログラム：
必修科目14単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目から74単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：40単位(年間))

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	加齢と障害に関する理解	4後		4								兼1
	権利擁護・成年後見・更生保護	3後		2								兼3
	社会保障論Ⅰ	2後		2								兼1
	社会保障論Ⅱ	2前		2								兼1
	社会福祉特殊講義Ⅰ	4前		2					1			兼2
	社会福祉特殊講義Ⅱ	4後		2					1			兼2
	マス・コミ調査分析	2前		2				1				
	マスコミュニケーション理論	2後		2				1				
	映像論	2前		2					1			
	情報と社会Ⅰ	3前		2				1				
	情報と社会Ⅱ	3後		2				1				
	新聞英語Ⅰ	2前		2					1			
	新聞英語Ⅱ	2後		2					1			
	大衆文化論	3後		2					1			
	地域メディア論	3前・後		2								兼1
	マス・コミ特殊講義Ⅰ	3前		2					1			
	マス・コミ特殊講義Ⅱ	3後		2					1			
小計(76科目)			-	8	150		4	2	3			
専門教育科目合計 (185科目)				44	330		10	6	3			

卒業要件及び履修方法

哲学・教育学プログラム：
必修科目18単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目から70単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：40単位(年間))

心理学プログラム：
必修科目30単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目から58単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：40単位(年間))

社会学プログラム：
必修科目14単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目から74単位以上を修得し、124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：40単位(年間))

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日本語・日本事情科目	日本語ⅠB	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅠC	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅡA	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅡB	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅡC	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅢA	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅢB	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅢC	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅣA	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅣB	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅣC	1・2・3・4	2								兼1
	日本語Ⅴ	1・2・3・4	2								兼1
	日本語Ⅵ	1・2・3・4	2								兼1
	沖繩事情Ⅰ	1・2・3・4	1								兼1
	沖繩事情Ⅱ	1・2・3・4	1								兼1
	日本事情Ⅰ	1・2・3・4	1								兼1
	日本事情Ⅱ	1・2・3・4	1								兼1
	日本語ⅠD	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅡD	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅠE	1・2・3・4	2								兼1
日本語ⅡE	1・2・3・4	2								兼1	
ビジネス日本語Ⅰ	1・2・3・4	1								兼1	
ビジネス日本語Ⅱ	1・2・3・4	1								兼1	
日本・沖繩文化Ⅰ	1・2・3・4	1								兼1	
日本・沖繩文化Ⅱ	1・2・3・4	1								兼1	
小計(309科目)			—	660							兼375
共通教育科目合計(309科目)			—	660							兼375
学部共通科目	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力)	1前	2			5	1				
	基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成)	1・2前・後	2			5	4	1			
	基礎演習Ⅲ(平和共生・沖繩理解)	1・2前・後	2			3	4				
	共生社会入門	1・2前	2			5	5				
	基礎社会保障法	1・2後	2								兼1
	国際関係史	1・2前・後	2								兼1
	共生哲学	1前	2			1					
琉球アジア研究概論	1・2後	2								兼3	
キャリア演習Ⅰ	2・3	2								兼1	
キャリア演習Ⅱ	2・3	2								兼1	
小計(10科目)			—	6	14	5	5	1			
学科共通科目	人間の探究	1後	2			1					
	教育学入門	1後	2			1					
	心理学概論Ⅰ	1後	2				1				
	社会学原論Ⅰ	1後	2			1	1				
	社会福祉原論Ⅰ	1後	2								
	マス・コミ原論Ⅰ	1後	2				1				
	哲学原論	2前	2								兼1
	教育社会学	2後	2			1					
	社会・集団・家族心理学	2後	2				1				
	社会心理学	2後	2				1				
臨床心理学	2後	2			1						
精神医学(精神疾患とその治療)	3後	2			1						
国際比較社会学Ⅱ	2後	2			1						
障害者福祉論	2前	2				1					
地域と平和	2前	2					1				
小計(15科目)			—	30		5	4	1			
プログラム科目	哲学・教育学演習Ⅰ	2前	2			3	1				
	哲学・教育学演習Ⅱ	2後	2			3	1				
	プログラム専門演習Ⅰ	3前	2			3	1				
	プログラム専門演習Ⅱ	3後	2			3	1				
	卒業研究Ⅰ	4前	2			3	1				
	卒業研究Ⅱ	4後	2			3	1				
	哲学史	1後	2								兼1
	宗教哲学入門	2前	2			1					
	倫理学原論	2前	2								兼1
	論理学概論	2後	2				1				
哲学A	2・3前	2			1						
哲学B	2・3後	2			1						
倫理学A	2・3前	2			1						

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
日本語・日本事情科目	日本語ⅠB	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅠC	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅡA	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅡB	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅡC	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅢA	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅢB	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅢC	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅣA	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅣB	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅣC	1・2・3・4	2								兼1
	日本語Ⅴ	1・2・3・4	2								兼1
	日本語Ⅵ	1・2・3・4	2								兼1
	沖繩事情Ⅰ	1・2・3・4	1								兼1
	沖繩事情Ⅱ	1・2・3・4	1								兼1
	日本事情Ⅰ	1・2・3・4	1								兼1
	日本事情Ⅱ	1・2・3・4	1								兼1
	日本語ⅠD	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅡD	1・2・3・4	2								兼1
	日本語ⅠE	1・2・3・4	2								兼1
日本語ⅡE	1・2・3・4	2								兼1	
ビジネス日本語Ⅰ	1・2・3・4	1								兼1	
ビジネス日本語Ⅱ	1・2・3・4	1								兼1	
日本・沖繩文化Ⅰ	1・2・3・4	1								兼1	
日本・沖繩文化Ⅱ	1・2・3・4	1								兼1	
小計(309科目)			—	660							兼375
共通教育科目合計(309科目)			—	660							兼375
学部共通科目	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力)	1前	2			5	1				
	基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成)	1・2前・後	2			5	3	2			
	基礎演習Ⅲ(平和共生・沖繩理解)	1・2前・後	2			3	6	1			
	共生社会入門	1・2前	2			5	4				
	基礎社会保障法	1・2後	2								兼1
	国際関係史	1・2前・後	2								兼1
	共生哲学	1前	2			1					
琉球アジア研究概論	1・2後	2								兼5	
キャリア演習Ⅰ	2・3	2								兼1	
キャリア演習Ⅱ	2・3	2								兼1	
小計(10科目)			—	6	14	5	8	2			
学科共通科目	人間の探究	1後	2			1					
	教育学入門	1後	2			1					
	心理学概論Ⅰ	1後	2				1	2			
	社会学原論Ⅰ	1後	2			1	1				
	社会福祉原論Ⅰ	1後	2						1		
	マス・コミ原論Ⅰ	1後	2				1				
	哲学原論	2前	2								兼1
	教育社会学	2後	2			1					
	社会・集団・家族心理学	2後	2				1				
	社会心理学	2後	2				1				
臨床心理学	2後	2			1						
精神医学(精神疾患とその治療)	3後	2			1						
国際比較社会学Ⅱ	2後	2			1						
障害者福祉論	2前	2				1					
地域と平和	2前	2					1				
小計(15科目)			—	30		6	5	2			
プログラム科目	哲学・教育学演習Ⅰ	2前	2			3	1				
	哲学・教育学演習Ⅱ	2後	2			3	1				
	プログラム専門演習Ⅰ	3前	2			3	1				
	プログラム専門演習Ⅱ	3後	2			3	1				
	卒業研究Ⅰ	4前	2			3	1				
	卒業研究Ⅱ	4後	2			3	1				
	哲学史	1後	2								兼1
	宗教哲学入門	2前	2			1					
	倫理学原論	2前	2								兼1
	論理学概論	2後	2				1				
哲学A	2・3前	2			1						
哲学B	2・3後	2			1						
倫理学A	2・3前	2			1						

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
<p>哲学・教育学プログラム： 必修科目18単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目 から70単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：40単位（年間）)</p> <p>心理学プログラム： 必修科目30単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目 から58単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：40単位（年間）)</p> <p>社会学プログラム： 必修科目14単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目 から74単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：40単位（年間）)</p>											

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
<p>哲学・教育学プログラム： 必修科目18単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目か ら70単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：40単位（年間）)</p> <p>心理学プログラム： 必修科目30単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目か ら58単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：40単位（年間）)</p> <p>社会学プログラム： 必修科目14単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目か ら74単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：40単位（年間）)</p>											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
社会系科目	現代経済のしくみ	1・2・3・4	2							兼1
	経済の歴史	1・2・3・4	2							兼1
	現代経営のしくみ	1・2・3・4	2							兼1
	現代流通のしくみ	1・2・3・4	2							兼1
	情報メディアと創造性	1・2・3・4	2							兼1
	現代会計のしくみ	1・2・3・4	2							兼1
	現代経済の諸問題	1・2・3・4	2							兼1
	大学教育論	1・2・3・4	2							兼1
	教育政策史	1・2・3・4	2							兼1
	ベンチャー起業入門	1・2・3・4	2							兼1
	ベンチャー起業実践	1・2・3・4	2							兼1
	社会系特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2							兼1
	社会系特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2							兼1
	自然系科目	大気の科学	1・2・3・4	2						
地球の科学		1・2・3・4	2							兼1
海洋の科学		1・2・3・4	2							兼1
宇宙の科学		1・2・3・4	2							兼1
科学の光と影		1・2・3・4	2							兼1
統計と社会		1・2・3・4	2							兼1
数理の構造		1・2・3・4	2							兼1
数の文化		1・2・3・4	2							兼1
時間と空間		1・2・3・4	2							兼1
人間と物理学		1・2・3・4	2							兼1
生活の化学		1・2・3・4	2							兼1
分子の世界		1・2・3・4	2							兼1
生物の生活		1・2・3・4	2							兼1
生命の科学		1・2・3・4	2							兼1
パースの世界		1・2・3・4	2							兼1
都市環境と計画		1・2・3・4	2							兼1
ランドスケープ論		1・2・3・4	2							兼1
環境デザイン論		1・2・3・4	2							兼1
地球環境と科学技術		1・2・3・4	2							兼1
天体観測を通して学ぶ宇宙		1・2・3・4	2							兼1
自然環境と土木工学	1・2・3・4	2							兼1	
生物資源利用とサイエンス	1・2・3・4	2							兼1	
食料・農村・環境概論	1・2・3・4	2							兼1	
ヒトの健康科学	1・2・3・4	2							兼1	
自然系特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2							兼1	
自然系特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2							兼1	
健康	健康・スポーツ科学	1・2・3・4	2							兼2
	運動・スポーツ科学演習	1・2・3・4	2							兼64
	脳の発達と人間	1・2・3・4	2							兼1
	認識の仕組み	1・2・3・4	2							兼1
	環太平洋地域の文化	1・2・3・4	2							兼1
	ヨーロッパの文化と社会	1・2・3・4	2							兼1
	ヨーロッパの歴史と伝統	1・2・3・4	2							兼1
	アメリカの文化と社会	1・2・3・4	2							兼1
	現代青年の心とその病理	1・2・3・4	2							兼1
	科学と社会	1・2・3・4	2							兼1
	住まいの科学	1・2・3・4	2							兼1
	環境の保全	1・2・3・4	2							兼1
	環境問題	1・2・3・4	2							兼1
	熱帯の科学	1・2・3・4	2							兼1
	情報科学概論	1・2・3・4	2							兼1
	ヒトの科学と人間の医学	1・2・3・4	2							兼1
	動物実験の基礎	1・2・3・4	2							兼1
	生命科学入門	1・2・3・4	2							兼1
	大学とは何かー大学の自治と大学人の責任を考えるー	1・2・3・4	4							兼1
	先端情報工学概論	1・2・3・4	4							兼1
	死と哲学の知	1・2・3・4	2							兼1
	科学と擬似科学	1・2・3・4	2							兼1
キャリア概論	1・2・3・4	2							兼1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講師	助教	
総合領域	人口と食糧	1・2・3・4	2							兼1
	ボランティア入門	1・2・3・4	2							兼1
	職業と人生	1・2・3・4	2							兼1
	囲碁の世界	1・2・3・4	2							兼1
	災害と安全	1・2・3・4	2							兼1
	生活空間のビジョン	1・2・3・4	2							兼1
	地域企業(自治体)お題解決プログラム	1・2・3・4	2							兼1
	若者の雇用環境	1・2・3・4	2							兼1
	キャリア形成入門	1・2・3・4	2							兼1
	ボランティア体験学習	1・2・3・4	2							兼1
	キャリアと学生生活	1・2・3・4	2							兼1
	環境インターンシップ	1・2・3・4	2							兼1
	総合環境学概論	1・2・3・4	2							兼1
	エンカレッジメント —大学の学びと未来— 生活習慣病予防および健康増進	1・2・3・4	2							兼1
	1・2・3・4	2								兼1
	大学で何を学ぶか	1・2・3・4	2							兼1
	観光への扉～観光学入門	1・2・3・4	2							兼1
	海外文化研修A(英語圏)	1・2・3・4	2							兼1
	海外文化研修B(中国語圏)	1・2・3・4	2							兼1
	海外文化研修C(スペイン語圏)	1・2・3・4	4							兼1
	海外文化研修D(フランス語圏)	1・2・3・4	4							兼1
	海外文化研修E(ドイツ語圏)	1・2・3・4	4							兼1
	環境と文学	1・2・3・4	2							兼1
	現代アジア論	1・2・3・4	2							兼1
	女性と社会	1・2・3・4	2							兼1
	異文化コミュニケーション入門	1・2・3・4	2							兼1
	キャリアデザインとジェンダー	1・2・3・4	2							兼1
	地域システム計画論	1・2・3・4	2							兼1
	情報セキュリティ概論	1・2・3・4	2							兼1
	環境エネルギー計画	1・2・3・4	2							兼1
	環境影響評価概論	1・2・3・4	2							兼1
	海外職場体験	1・2・3・4	2							兼1
	総合特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2							兼1
	総合特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2							兼1
	総合特別講義Ⅲ	1・2・3・4	2							兼1
	高年次総合科目	現代社会の課題—21世紀への挑戦—	1・2・3・4	2						
倫理総合討論		1・2・3・4	2							兼1
地震と防災		1・2・3・4	2							兼1
大学と産業の振興		1・2・3・4	2							兼1
総合環境論		1・2・3・4	2							兼1
キャリアデザイン実践	1・2・3・4	2							兼1	
琉大特色科目	平和論	1・2・3・4	2							兼1
	核の科学	1・2・3・4	2							兼1
	適応の心理	1・2・3・4	2							兼1
	沖縄の基地と戦跡Ⅰ	1・2・3・4	2							兼1
	沖縄の基地と戦跡Ⅱ	1・2・3・4	2							兼1
	近代沖縄の社会と表現	1・2・3・4	2							兼1
	琉球の文学	1・2・3・4	2							兼1
	地域の科学	1・2・3・4	2							兼1
	地域文化論	1・2・3・4	2							兼1
	琉球の自然	1・2・3・4	2							兼1
	琉球の自然保護	1・2・3・4	2							兼1
	沖縄のサンゴ礁	1・2・3・4	2							兼1
	琉球弧の自然誌	1・2・3・4	2							兼1
	琉球の地理	1・2・3・4	2							兼1
	沖縄の農業・農村と農地水環境	1・2・3・4	2							兼1
	ことばと文化	1・2・3・4	2							兼1
	現代の国際関係	1・2・3・4	2							兼1
琉球アジア研究入門	1・2・3・4	2							兼1	
移民論	1・2・3・4	2							兼1	
沖縄の政治と社会	1・2・3・4	2							兼1	
三線入門	1・2・3・4	2							兼1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	うちなーぐちあしび	1・2・3・4		2							兼1
	亜熱帯－西表の自然	1・2・3・4		2							兼1
	沖縄の学力と教育	1・2・3・4		2							兼1
	琉球語入門Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1
	琉球語入門Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1
	沖縄の染めと織り	1・2・3・4		2							兼1
	沖縄の歴史入門	1・2・3・4		2							兼1
	琉球学入門	1・2・3・4		2							兼1
	琉球の自然と人	1・2・3・4		2							兼1
	現代沖縄史	1・2・3・4		2							兼1
	現代沖縄地域論	1・2・3・4		2							兼1
	地域課題フィールドワーク演習	1・2・3・4		2							兼1
	琉大特色特別講義Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1
	琉大特色特別講義Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1
	琉大特色特別講義Ⅲ	1・2・3・4		2							兼1
情報	情報科学演習	1・2・3・4		2							兼1
	日本語表現法入門	1・2・3・4		2							兼1
基幹領域 外国語科目	大学英語	1・2・3・4		4							兼1
	英語講読演習 中級	1・2・3・4		2							兼1
	英語講読演習 上級	1・2・3・4		2							兼1
	英会話演習 中級	1・2・3・4		2							兼1
	英会話演習 上級	1・2・3・4		2							兼1
	英作文演習 中級	1・2・3・4		2							兼1
	英作文演習 上級	1・2・3・4		2							兼1
	英語プレゼンテーション演習中級	1・2・3・4		2							兼1
	英語プレゼンテーション演習上級	1・2・3・4		2							兼1
	TOEIC演習	1・2・3・4		2							兼1
	TOEFL演習	1・2・3・4		2							兼1
	英検準1級演習	1・2・3・4		2							兼1
	特定英語課題演習Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1
	特定英語課題演習Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1
	ドイツ語入門Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1
	ドイツ語入門Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1
	ドイツ語入門Ⅲ	1・2・3・4		2							兼1
	ドイツ語入門Ⅳ	1・2・3・4		2							兼1
	ドイツ語会話入門Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1
	ドイツ語会話入門Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1
	インテンシブドイツ語Ⅰ	1・2・3・4		4							兼1
	インテンシブドイツ語Ⅱ	1・2・3・4		4							兼1
	インテンシブドイツ語Ⅲ	1・2・3・4		2							兼1
	インテンシブドイツ語Ⅳ	1・2・3・4		2							兼1
	ドイツ語圏文化入門	1・2・3・4		2							兼1
	フランス語入門Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1
	フランス語入門Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1
	フランス語入門Ⅲ	1・2・3・4		2							兼1
	フランス語入門Ⅳ	1・2・3・4		2							兼1
	フランス語会話入門Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1
	フランス語会話入門Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1
	インテンシブフランス語Ⅰ	1・2・3・4		4							兼1
インテンシブフランス語Ⅱ	1・2・3・4		4							兼1	
インテンシブフランス語Ⅲ	1・2・3・4		2							兼1	
インテンシブフランス語Ⅳ	1・2・3・4		2							兼1	
フランス語圏文化入門	1・2・3・4		2							兼1	
スペイン語入門Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1	
スペイン語入門Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1	
スペイン語入門Ⅲ	1・2・3・4		2							兼1	
スペイン語入門Ⅳ	1・2・3・4		2							兼1	
スペイン語会話入門Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1	
スペイン語会話入門Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
	インテンススペイン語Ⅰ	1・2・3・4		4							兼1
	インテンススペイン語Ⅱ	1・2・3・4		4							兼1
	インテンススペイン語Ⅲ	1・2・3・4		2							兼1
	インテンススペイン語Ⅳ	1・2・3・4		2							兼1
	スペイン語圏文化入門	1・2・3・4		2							兼1
	中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4		4							兼1
	中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4		4							兼1
	中国語中級	1・2・3・4		4							兼1
	中国語講読	1・2・3・4		2							兼1
	中国語演習	1・2・3・4		2							兼1
	中国語上級	1・2・3・4		2							兼1
	中国語特演	1・2・3・4		2							兼1
	中国語会話	1・2・3・4		2							兼1
	時事中国語	1・2・3・4		2							兼1
	中国語作文	1・2・3・4		2							兼1
	実践中国語	1・2・3・4		2							兼1
	朝鮮語基礎Ⅰ	1・2・3・4		4							兼1
	朝鮮語基礎Ⅱ	1・2・3・4		4							兼1
	朝鮮語中級	1・2・3・4		4							兼1
	朝鮮語講読	1・2・3・4		2							兼1
	朝鮮語演習	1・2・3・4		2							兼1
	インドネシア語基礎Ⅰ	1・2・3・4		4							兼1
	インドネシア語基礎Ⅱ	1・2・3・4		4							兼1
	タイ語基礎Ⅰ	1・2・3・4		4							兼1
	タイ語基礎Ⅱ	1・2・3・4		4							兼1
	ヴェトナム語基礎Ⅰ	1・2・3・4		4							兼1
	ヴェトナム語基礎Ⅱ	1・2・3・4		4							兼1
	ヴェトナム語中級	1・2・3・4		4							兼1
	ラテン語入門Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1
	ラテン語入門Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1
	ギリシャ語入門Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1
	ギリシャ語入門Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1
	ロシア語入門Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1
	ロシア語入門Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1
	サンスクリット語入門Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1
	サンスクリット語入門Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1
	ブラジル・ポルトガル語入門Ⅰ	1・2・3・4		2							兼1
	ブラジル・ポルトガル語入門Ⅱ	1・2・3・4		2							兼1
日本語・日本事情科目	日本語ⅠA	1・2・3・4		2							兼1
	日本語ⅠB	1・2・3・4		2							兼1
	日本語ⅠC	1・2・3・4		2							兼1
	日本語ⅡA	1・2・3・4		2							兼1
	日本語ⅡB	1・2・3・4		2							兼1
	日本語ⅡC	1・2・3・4		2							兼1
	日本語ⅢA	1・2・3・4		2							兼1
	日本語ⅢB	1・2・3・4		2							兼1
	日本語ⅢC	1・2・3・4		2							兼1
	日本語ⅣA	1・2・3・4		2							兼1
	日本語ⅣB	1・2・3・4		2							兼1
	日本語ⅣC	1・2・3・4		2							兼1
	日本語Ⅴ	1・2・3・4		2							兼1
	日本語Ⅵ	1・2・3・4		2							兼1
	沖繩事情Ⅰ	1・2・3・4		1							兼1
	沖繩事情Ⅱ	1・2・3・4		1							兼1
	日本事情Ⅰ	1・2・3・4		1							兼1
	日本事情Ⅱ	1・2・3・4		1							兼1
	日本語ⅠD	1・2・3・4		2							兼1
	日本語ⅡD	1・2・3・4		2							兼1
日本語ⅠE	1・2・3・4		2							兼1	
日本語ⅡE	1・2・3・4		2							兼1	
ビジネス日本語Ⅰ	1・2・3・4		1							兼1	
ビジネス日本語Ⅱ	1・2・3・4		1							兼1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	日本・沖縄文化Ⅰ	1・2・3・4		1								兼1
	日本・沖縄文化Ⅱ	1・2・3・4		1								兼1
	小計(309科目)	—		660								兼375
共通教育科目合計(309科目)			—	660								兼375
学部共通科目	学部共通基盤 基礎演習Ⅰ(大学生基礎力)	1前	2			1	2	2				
	基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成)	1・2前・後	2			5	4	2				
	基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解)	1・2前・後	2			2	5	1				
	平和共生・沖縄理解 共生社会入門	1・2前		2		5	4					兼1
	基礎社会保障法	1・2後		2								兼1
	国際関係史	1・2前・後		2								
	共生哲学	1前		2		1						
	琉球アジア研究概論	2前		2								兼6
	キャリア形成 キャリア演習Ⅰ	2・3		2								兼1
	キャリア演習Ⅱ	2・3		2								兼1
小計(10科目)			—	6	14	9	7	2				
学科共通科目	人間の探究	1後		2		1						
	教育学入門	1後		2		1						
	心理学概論Ⅰ	1後		2		1	2					
	社会学原論Ⅰ	1後		2		1	1					
	社会福祉原論Ⅰ	1後		2				1				
	マス・コミ原論Ⅰ	1後		2				1				
	哲学原論	2前		2								兼1
	教育社会学	2後		2		1						
	社会・集団・家族心理学	2後		2			1					
	社会心理学	2後		2			1					
臨床心理学概論	2後		2		1							
精神医学(精神疾患とその治療)	3後		2		1							
国際比較社会学Ⅱ	2後		2		1							
障害者福祉論	2前		2									
地域と平和	2前		2					1				
小計(15科目)			—	30		6	5	2				
プログラムコア	哲学・教育学演習Ⅰ	2前		2		3	1					
	哲学・教育学演習Ⅱ	2後		2		3	1					
	プログラム専門演習Ⅰ	3前		2		3	1					
	プログラム専門演習Ⅱ	3後		2		3	1					
プログラムコア	卒業研究Ⅰ	4前		2		3	1					
	卒業研究Ⅱ	4後		2		3	1					
	哲学史	1後		2			1					
	宗教哲学入門	2前		2		1						兼1
倫理学原論	2前		2									
論理学概論	2後		2				1					
哲学A	2・3前		2		1							
哲学B	2・3後		2		1							
倫理学A	2・3前		2		1							
倫理学B	2・3後		2		1							
科学と哲学	4前		2				1					
論理学と哲学	3後		2				1					
認知哲学	3前		2				1					
真理と認識A	2後		2		1							
宗教哲学A	3前		2		1						兼1	
世界の宗教	2・3・4前		2									
現代の哲学	2・3・4前		2				1				兼1	
比較思想論	2前		2									
思考と存在A	2後		2		1							
宗教学A	3前		2		1							
教育の社会理論	3前		2		1							
教職入門	2前		2								兼1	
教育原理	2前		2								兼1	
教育学特論	2後		2								兼1	
学校社会学	2・3・4前		2		1							
教育の社会史	2後		2								兼1	
教育調査	2・3・4後		2		1							
教育課程	3前		2								兼1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教育方法	3前		1								兼1
	生徒指導論	3後		1								兼1
	教育行政学	3前		2								兼1
	教育法	3後		2								兼1
	教育福祉論A	3後		2		1						
	教育福祉論B	4後		2		1						
	道徳教育論	3後		2								兼1
	特別活動論	3後		2								兼1
小計(40科目)	-	12	66		3	1						
心理学プログラム専攻科目	心理学概論Ⅱ	2前		2			1					
	心理学実験	2後		2		2	2					
	心理学研究法	2後		2		2	4					
	心理学統計法Ⅰ	2前		2		1						
	心理学統計法Ⅱ	2後		2		1						
	心理学基礎演習	3前		2		3	4					
	心理学課題演習	3後		2		3	4					
	卒業研究Ⅰ	4前		2		2	4					
	卒業研究Ⅱ	4後		2		2	4					
	知覚・認知心理学	2後		2		1						兼1
	学習・言語心理学	2・3後		2								兼1
	神経・生理心理学	2・3後		2								
	心理調査概論	2後		2		1						
	文化心理学	3・4前		2		1						
	コミュニティ心理学	3・4前		2		1						
	産業・組織心理学	3・4前		2			1					
	司法・犯罪心理学	3後		2			1					
	司法心理学	3後		2			1					
	発達心理学	3・4前		2								兼1
	福祉心理学	3・4前		2								兼1
心理的アセスメントⅠ	3前		2			1						
心理的アセスメントⅡ	3後		2			1						
障害者・障害児心理学	3・4後		2								兼1	
心理学的支援法	3後		2								兼1	
認知行動療法	3・4前		2			1						
健康・医療心理学	3・4後		2			1						
感情・人格心理学	3・4前		2			1						
教育・学校心理学	3・4後		2			1						
外国文献講読Ⅰ	2後		2				1					
外国文献講読Ⅱ	3前		2		1							
外国文献講読Ⅲ(発展)	4前		2		1							
心理演習	3後		2		1	3						
心理実習	4後		2		1	3						
医学概論(人体の構造と機能及び疾病)	2前		2		1							
心理専門職キャリア概論Ⅰ(公認心理師の職業)	2・3前		2				1					
心理専門職キャリア概論Ⅱ(関係行政論)	2・3後		2				3					
小計(36科目)	-	18	54		2	4						
プログラムコア基礎科目	社会学原論Ⅱ	2前		2		1	1					
	国際比較社会学Ⅰ	2前		2		1						
	社会学実習Ⅰ	2前		2		2	1					
	社会学実習Ⅱ	2後		2		2	1					
	社会福祉原論Ⅱ	2前		2				1				
	ソーシャルケースワークⅠ	2前		2		1						
	相談援助実習Ⅰ	3前		2				1				
	相談援助実習Ⅱ	3後		2				1				
	マス・コミ原論Ⅱ	2前		2			1					
	マス・コミ実習Ⅰ	2前		2				1				
	マス・コミ実習Ⅱ	2後		2				1				兼1
	マス・コミ史	2前・後		2					1			
	プログラムコア発展科目	専門演習Ⅰ	3前・後		2		4	1				
専門演習Ⅱ	3後・4前		2		4	1						
卒業研究Ⅰ	3後・4前		2		4	1						
卒業研究Ⅱ	4前・後		2		4	1						

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
社会学プログラム専門科目 社会学プログラム発展科目	社会調査法Ⅰ	2前		2							兼1
	社会調査法Ⅱ	2後		2			1				兼1
	家族社会学	2・3・4前・後		2		1					兼1
	ジェンダーの社会学	2・3前・後		2							兼1
	ライフコースの社会学	2・3・4前・後		2		1					
	沖縄移民とアイデンティティ	2・3・4前・後		2			1				
	現代社会学研究Ⅰ	2・3前・後		2							兼1
	境界性の社会学Ⅰ	2・3前・後		2			1				
	境界性の社会学Ⅱ	2・3前・後		2				1			
	働くこととつながることの社会学Ⅰ	2・3前・後		2			1				
	働くこととつながることの社会学Ⅱ	2・3・4前・後		2			1				
	多文化共生の社会学Ⅰ	2・3・4前・後		2			1				
	多文化共生の社会学Ⅱ	2・3・4前・後		2			1				
	ソーシャルケースワークⅡ	2後		2		1					
	相談援助演習Ⅰ	2後		2					1		
	相談援助演習Ⅱ	2後		2					1		
	相談援助演習Ⅲ	3後		2		1					
	児童福祉論Ⅰ	2前		2		1					
	児童福祉論Ⅱ	2後		2		1					
	地域福祉の理論と方法	2前		2							
	ソーシャルグループワーク	2・3前		2		1					
	公的扶助論	2・3前・後		2							
	高齢者福祉論	2前		2					1		
	医学概論	2前		2		1					
	相談援助実習指導Ⅰ	2後		2					1		
	相談援助実習指導Ⅱ	3前		2					1		
	相談援助実習指導Ⅲ	3後		2					1		
	介護概論	2後		2							兼1
	介護技術	2後		2							兼1
	就労支援サービス論	2・3前・後		2							
	福祉行政財と福祉計画	2・3前・後		2							
	ソーシャルワーク論Ⅰ	2前		2		1					
	ソーシャルワーク論Ⅱ	3後		2		1					
	社会福祉運営管理論	2後		2					1		
	保健医療概論	2後		2							兼2
	人体構造及び日常生活行動に関する理解	4前		4							兼1
	加齢と障害に関する理解	4後		4							兼1
	権利擁護・成年後見・更生保護	3後		2							兼3
	社会保障論	2前		2							兼1
	マス・コミ調査分析	2前		2			1				
	マスコミュニケーション理論	2後		2			1				
	映像論	2前		2				1			
	情報と社会Ⅰ	3前		2			1				
	情報と社会Ⅱ	3後		2			1				
	新聞英語Ⅰ	2前		2				1			
	新聞英語Ⅱ	2後		2				1			
大衆文化論	3後		2				1				
地域メディア論	3前・後		2							兼1	
マス・コミ特殊講義Ⅰ	3前		2			1					
マス・コミ特殊講義Ⅱ	3後		2				1				
小計(66科目)	-		8	128		4	3	2			
専門教育科目合計(167科目)			44	292		10	7	2			

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	
卒業要件及び履修方法										
<p>哲学・教育学プログラム： 必修科目18単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目 から70単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：40単位（年間）)</p> <p>心理学プログラム： 必修科目30単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目 から58単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：40単位（年間）)</p> <p>社会学プログラム： 必修科目14単位、学部共通科目、学科共通科目及びプログラム専門科目の選択科目 から74単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：40単位（年間）)</p>										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教員間の担当計画変更により、「基礎演習Ⅰ(大学生基礎力)」の専任教員等の配置を「教授3、准教授9、講師1」から「准教授5、講師1」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成)」の専任教員等の配置を「教授7、准教授5、講師1」から「教授5、准教授4、講師1」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解)」の専任教員等の配置を「教授7、准教授5、講師1」から「教授3、准教授4」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「共生社会入門」の専任教員等の配置を「教授4、准教授5」から「教授5、准教授5」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「心理学概論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退のため、「社会福祉原論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。後任採用公募中。
- ・担当教員の就任辞退のため、「社会福祉原論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。後任採用公募中。
- ・担当教員の就任辞退のため、「高齢者福祉論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。後任採用公募中。
- ・担当教員の就任辞退のため、「保健医療概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。後任採用公募中。
- ・公認心理師の受験資格を得るために必要な科目を提供するため、「社会・集団・家族心理学」、「司法・犯罪心理学」、「医学概論(人体の構造と機能及び疾病)」を追加。
- ・公認心理師の受験資格を得るために必要な科目を提供するため、「精神医学」の科目名称を「精神医学(精神疾患とその治療)」に変更。
- ・担当教員の准教授から教授昇任により、「哲学・教育学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授3、准教授1」に変更。
- ・「哲学・教育学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授3、准教授1」に変更。
- ・「プログラム専門演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授3、准教授1」に変更。
- ・「プログラム専門演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授3、准教授1」に変更。
- ・「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授3、准教授1」に変更。
- ・「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授3、准教授1」に変更。
- ・担当教員の准教授から教授昇任により、「哲学A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の准教授から教授昇任により、「哲学B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の准教授から教授昇任により、「倫理学A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の准教授から教授昇任により、「倫理学B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育的効果を再検討し科目追加の必要性により、「現代の哲学」、「学校社会学」、「教育調査」を追加。
- ・教員免許法の改正により、「生徒指導」の科目名称を「生徒指導論」に変更。
- ・教員免許法の改正により、「道徳教育の研究」の科目名称を「道徳教育論」に変更。
- ・教員免許法の改正により、「特別活動に関する研究」の科目名称を「特別活動論」に変更。
- ・公認心理師の受験資格を得るために必要な科目を提供するため、「心理学基礎実験」の科目名称を「心理学実験」に変更。
- ・公認心理師の受験資格を得るために必要な科目を提供するため、「心理学演習」の科目名称を「心理学基礎演習」に変更。
- ・公認心理師の受験資格を得るために必要な科目を提供するため、「心理アセスメントⅠ」の科目名称を「心理的アセスメントⅠ」に変更。
- ・公認心理師の受験資格を得るために必要な科目を提供するため、「心理アセスメントⅡ」の科目名称を「心理的アセスメントⅡ」に変更。
- ・公認心理師の受験資格を得るために必要な科目を提供するため、「障害児(者)心理学」の科目名称を「障害児・障害者心理学」に変更。
- ・公認心理師の受験資格を得るために必要な科目を提供するため、「心理療法論」の科目名称を「心理学的支援法」に変更。
- ・公認心理師の受験資格を得るために必要な科目を提供するため、「臨床心理学演習」の科目名称を「心理演習」、「臨床心理学実習」の科目名称を「心理実習」に変更。
- ・公認心理師の受験資格を得るために必要な科目を提供するため、「心理専門職キャリア概論Ⅰ」の科目名称を「心理専門職キャリア概論Ⅰ(公認心理師の職責)」に変更。
- ・「心理専門職キャリア概論Ⅱ」の科目名称を「心理専門職キャリア概論Ⅱ(関係行政論)」に変更。
- ・教員間での担当計画変更により、「心理学基礎実験」(変更後名称「心理学実験」)の専任教員等の配置を「准教授5」から「教授1、准教授3」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「心理学統計法Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「心理学統計法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「心理学基礎演習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授5」から「教授2、准教授5」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「心理学課題演習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授5」から「教授2、准教授5」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授5」から「教授2、准教授5」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授5」から「教授2、准教授5」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「心理専門職キャリア概論Ⅱ(関係行政論)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退のため、「相談援助実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退のため、「相談援助実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退のため、「相談援助実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退のため、「相談援助演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退のため、「相談援助演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退のため、「相談援助実習指導Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退のため、「相談援助実習指導Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退のため、「相談援助実習指導Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教育的効果の再検討により「マス・コミ史」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・担当教員の就任辞退のため、「介護概論」の専任教員等の配置を「准教授1、兼1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退のため、「介護技術」の専任教員等の配置を「准教授1、兼1」から「兼1」に変更。
- ・社会福祉士の受験資格を得るために必要な科目を提供するため、「社会福祉運営管理論」、「権利擁護・成年後見・更生保護」、「社会保障論」を追加。
- ・教育的効果の再検討により、「地域メディア論」を追加。

【令和元年度】

- ・教員間の担当計画変更により、「基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師1」から「教授5、准教授4、講師2」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「基礎演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授4」から「教授3、准教授6、講師1」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「共生社会入門」の専任教員等の配置を「教授5、准教授5」から「教授5、准教授4」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「琉球アジア研究概論」の配当年次を「1・2後」から「2前」に変更。また教員間の担当計画変更により専任教員等配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・教育効果の再検討により、「心理学概論Ⅰ」の専任教員等配置を「准教授1」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・教員の補充により「社会福祉原論Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師1」に変更。
- ・臨床心理士の受験資格を得るために必要な科目を提供するため、科目名称を「臨床心理学」から「臨床心理学概論」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「哲学史」の教員の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・科目内容と教育効果の再検討により、「真理と認識」の科目名称を「真理と認識A」に変更。
- ・科目内容と教育効果の再検討により、「思考と存在」の科目名称を「思考と存在A」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「心理学実験」の配当年次を「2前」から「2後」に変更し、教員間の担当計画変更により専任教員等の配置を「教授1、准教授3」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「心理学基礎演習」、「心理学課題演習」、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授5」から「教授2、准教授4」に変更。
- ・担当教員の退職により、「コミュニティ心理学」の専任教員等配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「心理的アセスメントⅠ」の配当年次を「2後」から「3前」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「心理的アセスメントⅡ」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「心理的支援法」の配当年次を「2後」から「3後」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「心理専門職キャリア概論Ⅰ(公認心理師の職責)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「相談援助実習Ⅰ」及び「相談援助実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・教員の補充により「社会福祉原論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「社会調査法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「ジェンダーの社会学」を追加、専任教員等の配置で「兼1」を配置。
- ・教育的効果の再検討により、「現代社会学研究Ⅰ」を追加。専任教員等の配置で「兼1」を配置。
- ・教育的効果の再検討により、「境界性の社会学Ⅱ」を追加。専任教員等の配置で「准教授1」を配置。
- ・教員の補充により「高齢者福祉論」の専任教員等の配置を「講師1」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「相談援助実習指導Ⅰ」、「相談援助実習指導Ⅱ」及び「相談援助実習指導Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・教員の補充により、「社会福祉運営管理論」の専任教員等配置を「兼1」から「講師1」に変更
- ・教員の補充により、「保健医療概論」の専任教員等配置を「兼2」に変更
- ・教育的効果の再検討により、「地域メディア論」の配当年次を「2前・後」から「3前・後」に変更
- ・教育的効果の再検討により、「マス・コミ特殊講義Ⅰ」の配当年次を「2前」から「3前」に変更
- ・「心理調査概論」「外国文献講読Ⅰ」の専任教員等配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。後任は採用公募手続中。

【令和2年度】

- ・教員間の担当計画変更により、「基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授5、講師1」から「教授1、准教授2、講師2」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3、講師2」から「教授5、准教授4、講師2」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「基礎演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授6、講師1」から「教授2、准教授5、講師1」に変更。
- ・担当教員の退職と担当計画変更により、「琉球アジア研究概論」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・担当教員の退職により、「障害者福祉論」「地域福祉の理論と方法」「公的扶助論」「就労支援サービス論」「福祉行財政と福祉計画」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。後任採用公募中。
- ・科目内容と教育効果の再検討により、「宗教哲学」の科目名称を「宗教哲学A」に変更。
- ・科目内容と教育効果の再検討により、「宗教学」の科目名称を「宗教学A」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「教育福祉論B」の配当年次を「3後」から「4後」に変更。
- ・担当教員の補充により、「心理学実験」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、准教授2」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「心理学基礎演習」、「心理学課題演習」の専任教員等の配置を「教授2、准教授4」から「教授3、准教授4」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「神経・生理心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の補充により、「心理調査概論」の専任教員等に「教授1」を配置。
- ・担当教員の補充により、「文化心理学」、「コミュニティ心理学」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「外国語文献講読Ⅰ」の専任教員等に「准教授1」を配置。
- ・教育的効果の再検討により、「心理演習」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「心理実習」の配当年次を「3前」から「4後」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「心理専門職キャリア概論Ⅰ（公認心理師の職責）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教員の補充により「社会福祉原論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「講師1」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「社会調査法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1、兼1」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「家族社会学」の配当年次を「2・3前・後」から「2・3・4前・後」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「ライフコースの社会学」の配当年次を「2・3前・後」から「2・3・4前・後」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「沖繩移民とアイデンティティ」の配当年次を「2・3前・後」から「2・3・4前・後」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「働くこととつながることの社会学Ⅱ」の配当年次を「2・3前・後」から「2・3・4前・後」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「多文化共生の社会学Ⅰ」の配当年次を「2・3前・後」から「2・3・4前・後」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「多文化共生の社会学Ⅱ」の配当年次を「2・3前・後」から「2・3・4前・後」に変更。
- ・担当教員の退職と担当計画変更により、「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」、「地域福祉の理論と方法」、「公的扶助論」、「就労支援サービス論」、「福祉行財政と福祉計画」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・教育的効果の再検討により、「マス・コミ特殊講義Ⅱ」を追加。専任教員等に「講師1」を配置。

【令和3年度】

- ・担当教員の退職や昇任により、「基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4、講師2」から「教授6、准教授2、講師2」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「基礎演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授5、講師1」から「教授2、准教授4、講師2」に変更。
- ・学生への効果的な教育のため、「共生社会入門」の専任教員等の配置を「教授5、准教授4」から「教授6、准教授4」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「心理学概論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「准教授2」に変更。
- ・教員の採用により、「障害者福祉論」の専任教員等に「講師1」を配置。
- ・教育的効果の再検討により、「世界の思想A」、「世界の思想B」を追加。専任教員等の配置で「教授1」を配置。
- ・教育的効果の再検討により、「真理と認識B」、「真理と認識C」を追加。専任教員等の配置で「教授1」を配置。
- ・教育的効果の再検討により、「宗教哲学B」を追加。専任教員等の配置で「教授1」を配置。
- ・教育的効果の再検討により、「思考と存在B」、「思考と存在C」を追加。専任教員等の配置で「教授1」を配置。
- ・教育的効果の再検討により、「宗教哲学B」を追加。専任教員等の配置で「教授1」を配置。
- ・科目内容と教育効果の再検討により、「教育法」の科目名称を「教育の制度」に変更。
- ・担当教員の退職や昇任により、「心理学実験」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「心理学研究法」の専任教員等の配置を「教授2、准教授4」から「教授3、准教授3」に変更。
- ・担当教員の退職や昇任により、「心理学基礎演習」、「心理学課題演習」の専任教員等の配置を「教授3、准教授4」から「教授3、准教授3」に変更。
- ・担当教員の退職や昇任により、「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授4」から「教授3、准教授3」に変更。
- ・担当教員の退職により、「知覚・認知心理学」、「外国語文献講読Ⅱ」、「外国語文献講読Ⅲ（発展）」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「認知行動療法」、「健康・医療心理学」、「感情・人格心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「心理演習」、「心理実習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3」から「教授2、准教授2」に変更。
- ・担当教員の昇任により、「心理専門職キャリア概論Ⅱ（関係行政論）」の専任教員等の配置を「准教授3」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・社会福祉士養成カリキュラムの変更により、「相談援助実習Ⅰ」、「相談援助実習Ⅱ」の科目名をそれぞれ「ソーシャルワーク実習Ⅰ」、「ソーシャルワーク実習Ⅱ」に変更。
- ・教員間の担当計画変更により、「社会調査法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1、兼1」から「兼1」に変更。
- ・教育的効果の再検討と科目追加の必要性により、「現代社会学研究Ⅱ」を追加。専任教員等に「兼1」配置。
- ・教育的効果の再検討と科目追加の必要性により、「現代社会学研究Ⅲ」を追加。専任教員等に「准教授1、兼1」配置。兼1は採用手続き中。
- ・教育的効果の再検討と科目追加の必要性により、「沖繩社会問題論」を追加。専任教員等に「准教授1」配置。
- ・未開講となった科目の代替開講科目として「沖繩近代史」、「比較社会学Ⅰ」、「比較社会学Ⅱ」を追加。専任教員等に「准教授1」を配置。
- ・教育的効果の再検討と科目追加の必要性により、「文化変容の社会学Ⅰ」、「文化変容の社会学Ⅱ」を追加。専任教員等に「准教授1」配置。
- ・社会福祉士養成カリキュラムの変更により、「相談援助演習Ⅰ」、「相談援助演習Ⅱ」、「相談援助演習Ⅲ」の科目名をそれぞれ「ソーシャルワーク演習Ⅰ」、「ソーシャルワーク演習Ⅱ」、「ソーシャルワーク演習Ⅲ」に変更。
- ・社会福祉士養成カリキュラムの変更により、「相談援助実習実習指導Ⅰ」、「相談援助実習実習指導Ⅱ」、「相談援助実習実習指導Ⅲ」の科目名称を「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」、「ソーシャルワーク実習指導Ⅲ」に変更。
- ・後任教員の採用により、「就労支援サービス論」、「福祉行財政と福祉計画」の専任教員等の配置で「講師1」を配置。
- ・社会福祉士の受験資格を得るために必要な科目を提供するため、「社会保障論」の科目名称を「社会保障論Ⅰ」に変更し、「社会保障論Ⅱ」を追加。
- ・教育的効果の再検討と科目追加の必要性により、「社会福祉特殊講義Ⅰ」、「社会福祉特殊講義Ⅱ」を追加。専任教員等に「講師1、兼任2」を配置。

(注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	131 科目	0 科目	153 科目	22 [0] 科目	163 [32] 科目	0 [0] 科目	185 [32] 科目	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	沖縄移民とアイデンティティ	2	2・3・4前・後	専門	選択	新型コロナウイルス感染拡大により、海外沖縄県系人との交流イベントが延期になり、交流から学ぶという内容の授業が成り立たなくなったため。代替措置として科目を追加した（沖縄近現代史、比較社会学Ⅰ・Ⅱ）。
2	多文化共生の社会学Ⅰ	2	2・3・4前・後	専門	選択	
3	多文化共生の社会学Ⅱ	2	2・3・4前・後	専門	選択	

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目はいずれも選択科目であり、代替科目を追加で開講したため、学生の履修に特段の影響はない。学生には、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し始めた当初から、開講は困難である旨周知しており、世界のウチナンチュ大会や海外移住者子弟研修などの海外沖縄県系人との交流イベントの延期が決定した際にもメール等により周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{153} = \boxed{1.96\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	用途変更 (3)					
	校舎敷地	535,870 m ² 537,770 m²	0 m ²	0 m ²	535,870 m ² 537,770 m²						
	運動場用地	93,280 m ²	0 m ²	0 m ²	93,280 m ²						
	小 計	629,150 m ² 631,050 m²	0 m ²	0 m ²	629,150 m ² 631,050 m²						
	そ の 他	6,165,932 m ² 5,949,449 m²	0 m ²	0 m ²	6,165,932 m ² 5,949,449 m²						
	合 計	6,795,082 m ² 6,580,499 m²	0 m ²	0 m ²	6,795,082 m ² 6,580,499 m²						
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	誤記 (3)					
		171,860 m ² 171,458 m ² (171,860 m ²) (171,458 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	171,860 m ² 171,458 m ² (171,860 m ²) (171,458 m ²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	128 室 124 室 120 室	演 習 室	170 室 161 室 162 室	実験実習室	672 室 617 室 644 室	情報処理学習施設	28 室 (補助職員 0人)	語学学習施設	7 室 (補助職員 0人)	大学全体 用途変更 (元) 用途変更 (2) 用途変更 (3)
	(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			用途変更 (元) 用途変更 (3)			
		大学全体			653 661 667 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位で特定不能なため、大学全体の数		
	大学全体	971,079 [300,401] 977,132 [299,876] 985,777 [301,911] 971,079 [300,401] 977,132 [299,876] 985,777 [301,911]	52,953 [38,388] 35,450 [21,224] 27,560 [13,710]		30,979 [30,975] 13,822 [13,817] 6,319 [6,317]	7,715 7,795	2,340	280			
	計	971,079 [300,401] 977,132 [299,876] 985,777 [301,911]	52,953 [38,388] 35,450 [21,224] 27,560 [13,710]		30,979 [30,975] 13,822 [13,817] 6,319 [6,317]	7,715 7,795	2,340	280			
		971,079 [300,401] 977,132 [299,876] 985,777 [301,911]	52,953 [38,388] 35,450 [21,224] 27,560 [13,710]		30,979 [30,975] 13,822 [13,817] 6,319 [6,317]	7,715 7,795	(2,340)	(280)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	11,370 m ²		1,028 席		1,164,886 冊						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
	5,473 m ²		野球場1面		テニスコート10面						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による		
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円			
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円				
	学生1人当り納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要											

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	琉球大学						学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	2	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
【学部】	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
人文社会学部											
国際法政学科	4	80	3年次4	328	学士 (法学、政治科学・国際関係論)	1.02	1.03	-	平成30年度	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	
人間社会学科	4	80	3年次4	328	学士 (人文社会)	1.01	1.00	-	平成30年度	同上	
琉球アジア文化学科	4	40	3年次2	164	学士 (人文社会)	1.01	1.05	-	平成30年度	同上	
国際地域創造学部											
国際地域創造学科 (昼間主コース)	4	265	3年次8	1076	学士 (観光学、経営学、経済学、人文学)	1.00	1.00	-	平成30年度	同上	
国際地域創造学科 (夜間主コース)	4	80	3年次12	344	学士 (経営学、経済学、人文学)	1.01	1.03	-	平成30年度	同上	
教育学部											
学校教育教員養成課程	4	140	-	560	学士 (教育学)	1.02	1.00	-	平成11年度	同上	
理学部											
数理科学科	4	40	-	160	学士 (理学)	1.01	1.00	-	平成8年度	同上	
物質地球科学科	4	65	-	260	学士 (理学)	1.06	1.09	-	平成8年度	同上	
海洋自然科学科	4	95	-	380	学士 (理学)	1.02	1.02	-	平成8年度	同上	
医学部											
医学科	6	112	2年次5	697	学士 (医学)	1.00	1.00	令和2	昭和54年度	沖縄県中頭郡西原町字上原207番地	定員変更(12)
保健学科	4	60	-	240	学士 (保健学)	1.01	1.00	-	昭和56年度	同上	
工学部											
工学科	4	350	3年次20	1440	学士 (工学)	1.02	1.00	-	平成29年度	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	
農学部											
亜熱帯地域農学科	4	35	-	140	学士 (農学)	1.03	1.09	-	平成21年度	同上	
亜熱帯農林環境科学科	4	35	-	140	学士 (農学)	1.03	1.09	-	平成21年度	同上	
地域農業工学科	4	25	-	100	学士 (農学)	1.00	1.00	-	平成21年度	同上	
亜熱帯生物資源科学科	4	45	3年次5	190	学士 (農学)	1.01	1.00	-	平成21年度	同上	
大学全体	4・6	1547	60	6547	-	1.01	1.01	-	-	-	

大学の名称	琉球大学					学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	2	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
【大学院】											
人文社会科学研究科											
〈博士前期課程〉											
総合社会システム専攻	2	17	-	34	修士 (法学、政治学、経済学、経営学、社会学、教育学、心理学、哲学、文学、歴史学、地理学、言語科学、学術)	0.23	0.18	-	平成13年度	同上	
人間科学専攻	2	16	-	32		0.40	0.44	-	平成13年度	同上	
国際言語文化専攻	2	12	-	24		0.58	0.33	-	平成13年度	同上	
〈博士後期課程〉											
比較地域文化専攻	3	4	-	12	博士 (学術)	1.00	0.25	-	平成18年度	同上	
観光科学研究科											
〈修士課程〉											
観光科学専攻	2	6	-	12	修士 (観光学)	0.25	0.17	-	平成21年度	同上	
教育学研究科											
〈専門職学位課程〉											
高度教職実践専攻	2	20	-	40	教職 修士 (専門職)	1.05	1.05	-	平成28年度	同上	
医学研究科											
〈修士課程〉											
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.63	0.67	-	平成16年度	沖縄県中頭郡西原町字上原207番地	
〈博士課程〉											
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	0.90	0.60	-	平成26年度	同上	
保健学研究科											
〈博士前期課程〉											
保健学専攻	2	10	-	20	修士 (保健学)	0.75	1.10	-	昭和61年度	同上	
〈博士後期課程〉											
保健学専攻	3	3	-	9	博士 (保健学)	0.78	1.00	-	平成19年度	同上	
理工学研究科											
〈博士前期課程〉											
機械システム工学専攻	2	-	-	27		-	-	-	平成9年度	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	令和3年学生募集停止
環境建設工学専攻	2	-	-	24		-	-	-	平成9年度	同上	令和3年学生募集停止
電気電子工学専攻	2	-	-	24	修士 (理学、工学)	-	-	-	平成9年度	同上	令和3年学生募集停止
情報工学専攻	2	-	-	18		-	-	-	平成9年度	同上	令和3年学生募集停止
数理科学専攻	2	10	-	20		0.80	0.90	-	平成10年度	同上	
物質地球科学専攻	2	16	-	32		1.03	1.25	-	平成10年度	同上	
海洋自然科学専攻	2	26	-	52		1.12	1.23	-	平成10年度	同上	
工学専攻	2	93	-	93		1.02	1.02	-	令和3年度	同上	
〈博士後期課程〉											
生産エネルギー工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学、学術)	1.08	1.00	-	平成9年度	同上	
総合知能工学専攻	3	3	-	9		2.33	3.00	-	平成9年度	同上	
海洋環境学専攻	3	5	-	15		1.93	2.80	-	平成10年度	同上	

大学の名称	琉球大学						学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	2	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
農学研究科 〈修士課程〉 亜熱帯農学専攻	2	35	-	70	修士 (農学)	0.87	1.03	-	平成23年度	同上	
法務研究科 〈専門職学位課程〉 法務専攻	3	16	-	48	法務博士 (専門職)	0.95	0.81	-	平成16年度	同上	
大学院全体	2・3・4	341	-	777	-	0.87	0.90	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<人文社会学部 人間社会学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専 教授	寺石 悦章 (52) <平成30年4月> 博士(文学) 基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 共生社会入門 共生哲学 人間の探究 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 宗教哲学入門 真理と認識 宗教哲学 思考と存在 宗教学	専 教授	寺石 悦章 (53) <平成30年4月> 博士(文学) 共生哲学 人間の探究 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 宗教哲学入門 真理と認識 宗教哲学 思考と存在 宗教学	専 教授	寺石 悦章 (54) <平成30年4月> 博士(文学) 共生哲学 人間の探究 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 宗教哲学入門 真理と認識A 宗教哲学 思考と存在A 宗教学	専 教授	寺石 悦章 (55) <平成30年4月> 博士(文学) 共生哲学 人間の探究 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 宗教哲学入門 真理と認識A 宗教哲学 思考と存在A 宗教学	専 教授	寺石 悦章 (56) <平成30年4月> 博士(文学) 共生哲学 人間の探究 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 宗教哲学入門 真理と認識A 真理と認識B 真理と認識C 宗教哲学A 宗教哲学B 宗教哲学C 思考と存在A 思考と存在B 思考と存在C 宗教学A 宗教学B
専 教授	長谷川 裕 (55) <平成30年4月> 社会学修士 基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 共生社会入門 教育社会学 教育社会学入門 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 教育の社会学 教育福祉論A 教育福祉論B	専 教授	長谷川 裕 (56) <平成30年4月> 社会学修士 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 共生社会入門 教育社会学 教育社会学入門 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 教育の社会学 学校社会学 教育福祉論A 教育福祉論B	専 教授	長谷川 裕 (57) <平成30年4月> 社会学修士 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 共生社会入門 教育社会学 教育社会学入門 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 教育の社会学 学校社会学 教育福祉論A 教育福祉論B	専 教授	長谷川 裕 (58) <平成30年4月> 社会学修士 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 共生社会入門 教育社会学 教育社会学入門 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 教育の社会学 学校社会学 教育福祉論A 教育福祉論B	専 教授	長谷川 裕 (59) <平成30年4月> 社会学修士 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 共生社会入門 教育社会学 教育社会学入門 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 教育の社会学 学校社会学 教育福祉論A 教育福祉論B
専 准教授	久高 将晃 (43) <平成30年4月> 博士(学術) 基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B	専 教授	久高 将晃 (44) <平成30年4月> 博士(学術) 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B	専 教授	久高 将晃 (45) <平成30年4月> 博士(学術) 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B	専 教授	久高 将晃 (46) <平成30年4月> 博士(学術) 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B	専 教授	久高 将晃 (47) <平成30年4月> 博士(学術) 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 哲学・教育学演習Ⅰ 哲学・教育学演習Ⅱ プログラム専門演習Ⅰ プログラム専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 哲学A 哲学B 倫理学A 倫理学B 世界の風土A 世界の風土B
専 教授	遠藤 光男 (61) <平成30年4月> 博士(文学) 基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 心理学研究法 心理学統計法Ⅰ 心理学統計法Ⅱ 心理学演習 心理学課題演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 知覚・認知心理学 学習・言語心理学 外国文献講読Ⅱ 外国文献講読Ⅲ(発展) 心理専門職キャリア概論Ⅰ	専 教授	遠藤 光男 (62) <平成30年4月> 博士(文学) 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 心理学実験 心理学研究法 心理学統計法Ⅰ 心理学統計法Ⅱ 心理学基礎演習 心理学課題演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 知覚・認知心理学 外国文献講読Ⅱ 外国文献講読Ⅲ(発展) 心理専門職キャリア概論Ⅰ(公認心理師の職業)	専 教授	遠藤 光男 (63) <平成30年4月> 博士(文学) 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 心理学実験 心理学研究法 心理学統計法Ⅰ 心理学統計法Ⅱ 心理学基礎演習 心理学課題演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 知覚・認知心理学 外国文献講読Ⅱ 外国文献講読Ⅲ(発展) 心理専門職キャリア概論Ⅰ(公認心理師の職業)	専 教授	遠藤 光男 (64) <平成30年4月> 博士(文学) 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 心理学研究法 心理学統計法Ⅰ 心理学統計法Ⅱ 心理学基礎演習 心理学課題演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 知覚・認知心理学 外国文献講読Ⅱ 外国文献講読Ⅲ(発展)	兼任 講師	遠藤 光男 (65) <令和3年4月> 博士(文学) 知覚・認知心理学 外国文献講読Ⅱ 外国文献講読Ⅲ(発展)
専 教授	畠中 雄平 (58) <平成30年4月> Doctor of Philosophy in Medical Science 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 臨床心理学 精神医学 臨床心理学演習 臨床心理学実習 医学概論 心理専門職キャリア概論Ⅱ	専 教授	畠中 雄平 (59) <平成30年4月> Doctor of Philosophy in Medical Science 臨床心理学 精神医学(精神疾患とその治療) 心理学研究法 心理学基礎演習 心理学課題演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理演習 心理実習 医学概論(人体の構造と機能及び疾病) 医学概論	専 教授	畠中 雄平 (60) <平成30年4月> Doctor of Philosophy in Medical Science 臨床心理学概論 精神医学(精神疾患とその治療) 心理学研究法 心理学基礎演習 心理学課題演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理演習 心理実習 医学概論(人体の構造と機能及び疾病) 医学概論	専 教授	畠中 雄平 (61) <平成30年4月> Doctor of Philosophy in Medical Science 臨床心理学概論 精神医学(精神疾患とその治療) 心理学研究法 心理学基礎演習 心理学課題演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理演習 心理実習 医学概論(人体の構造と機能及び疾病) 医学概論	専 教授	畠中 雄平 (62) <平成30年4月> Doctor of Philosophy in Medical Science 臨床心理学概論 精神医学(精神疾患とその治療) 心理学研究法 心理学基礎演習 心理学課題演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理演習 心理実習 医学概論(人体の構造と機能及び疾病) 医学概論
						専 教授	泊 真晃 (47) <令和2年4月> 博士(心理学) 基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 心理学実験 心理学統計法Ⅰ 心理学統計法Ⅱ 心理学基礎演習 心理学課題演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 文化心理学 コミュニティ心理学	専 教授	泊 真晃 (48) <令和2年4月> 博士(心理学) 基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最適解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 共生社会入門 心理学実験 心理学統計法Ⅰ 心理学統計法Ⅱ 心理学基礎演習 心理学課題演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 文化心理学 コミュニティ心理学

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

Table with 6 columns and multiple rows. Columns represent different years and categories (Special, Provisional). Rows list faculty names (e.g., 田中 寛二, 伊藤 大輔, 高良 美樹, 加藤 潤三, 野入 直美, 鈴木 良) and their assigned subjects (e.g., 基礎演習 I, II, III, 心理学的アプローチ II, 臨床心理学演習).

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	比嘉 要 (52) <平成30年4月> 文学修士	基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) マス・コミ原論Ⅰ マス・コミ原論Ⅱ マス・コミ実習Ⅱ マス・コミ調査分析 マスコミュニケーション理論 情報と社会Ⅰ 情報と社会Ⅱ マス・コミ特殊講義Ⅰ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	准教授	白井 ころこ (43) <平成30年4月> 博士(医学)	基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ 高齢者福祉論 保健医療概論 相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅱ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習Ⅰ 相談援助実習Ⅱ 介護概論 介護技術 加齢と障害に関する理解
専任	准教授	車野 智洋 (39) <平成30年4月> 博士(人間科学)	心理学概論 心理学基礎演習 心理学実践演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 神経・生理心理学 心理的アセスメントⅠ 教育・学校心理学 心理実習 心理専門職キャリア概論Ⅱ(関係行政論)
専任	講師	渡久山 清美 (47) <平成30年4月> Master of Science (Journalism)	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) マス・コミ実習Ⅰ マス・コミ史 地域と平和 映像論 新聞英語Ⅰ 新聞英語Ⅱ 大衆文化論
専任	講師	田中 将太 (38) <平成31年4月> 修士(社会福祉学)	基礎演習Ⅱ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅲ(最速解導出力育成) 基礎演習Ⅳ(最速解導出力育成) 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ 相談援助実習Ⅰ 相談援助実習Ⅱ 高齢者福祉論 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉運営管理論
専任	講師	波名 純 (37) <令和3年4月> 修士(人間科学)	基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 障害者福祉論 地域福祉の理論と方法 公的扶助論 就労支援サービス論 福祉行政と福祉計画 社会福祉特殊講義Ⅰ 社会福祉特殊講義Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	比嘉 要 (53) <平成30年4月> 文学修士	基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 共生社会入門 マス・コミ原論Ⅰ マス・コミ原論Ⅱ マス・コミ実習Ⅱ マス・コミ調査分析 マスコミュニケーション理論 情報と社会Ⅰ 情報と社会Ⅱ マス・コミ特殊講義Ⅰ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	准教授	車野 智洋 (40) <平成30年4月> 博士(人間科学)	基礎演習Ⅲ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅳ(最速解導出力育成) 心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ 心理学実践 心理学研究法 心理学基礎演習 心理学実践演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 神経・生理心理学 心理的アセスメントⅠ 教育・学校心理学 心理実習 心理専門職キャリア概論Ⅱ(関係行政論)
専任	講師	渡久山 清美 (48) <平成30年4月> Master of Science (Journalism)	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) マス・コミ実習Ⅰ マス・コミ史 地域と平和 映像論 新聞英語Ⅰ 新聞英語Ⅱ 大衆文化論
専任	講師	田中 将太 (39) <平成31年4月> 修士(社会福祉学)	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(最速解導出力育成) 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ 相談援助実習Ⅰ 相談援助実習Ⅱ 高齢者福祉論 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉運営管理論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	比嘉 要 (54) <平成30年4月> 文学修士	基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 共生社会入門 マス・コミ原論Ⅰ マス・コミ原論Ⅱ マス・コミ実習Ⅱ マス・コミ調査分析 マスコミュニケーション理論 情報と社会Ⅰ 情報と社会Ⅱ マス・コミ特殊講義Ⅰ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	准教授	車野 智洋 (41) <平成30年4月> 博士(人間科学)	基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ 心理学実践 心理学研究法 心理学基礎演習 心理学実践演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理的アセスメントⅠ 教育・学校心理学 心理実習 心理専門職キャリア概論Ⅱ(関係行政論)
専任	講師	渡久山 清美 (49) <平成30年4月> Master of Science (Journalism)	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) マス・コミ実習Ⅰ マス・コミ史 地域と平和 映像論 新聞英語Ⅰ 新聞英語Ⅱ 大衆文化論
専任	講師	田中 将太 (40) <平成31年4月> 修士(社会福祉学)	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(最速解導出力育成) 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ 相談援助実習Ⅰ 相談援助実習Ⅱ 高齢者福祉論 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉運営管理論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	比嘉 要 (55) <平成30年4月> 文学修士	基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 共生社会入門 マス・コミ原論Ⅰ マス・コミ原論Ⅱ マス・コミ実習Ⅱ マス・コミ調査分析 マスコミュニケーション理論 情報と社会Ⅰ 情報と社会Ⅱ マス・コミ特殊講義Ⅰ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	准教授	車野 智洋 (42) <平成30年4月> 博士(人間科学)	基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ 心理学実践 心理学研究法 心理学基礎演習 心理学実践演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理的アセスメントⅠ 教育・学校心理学 心理実習 心理専門職キャリア概論Ⅱ(関係行政論)
専任	講師	渡久山 清美 (51) <平成30年4月> Master of Science (Journalism)	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) 地域と平和 マス・コミ史 映像論 新聞英語Ⅰ 新聞英語Ⅱ 大衆文化論 マス・コミ特殊講義Ⅱ
専任	講師	田中 将太 (40) <平成31年4月> 修士(社会福祉学)	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(最速解導出力育成) 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ 相談援助実習Ⅰ 相談援助実習Ⅱ 高齢者福祉論 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉運営管理論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	比嘉 要 (56) <平成30年4月> 文学修士	基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 共生社会入門 マス・コミ原論Ⅰ マス・コミ原論Ⅱ マス・コミ実習Ⅱ マス・コミ調査分析 マスコミュニケーション理論 情報と社会Ⅰ 情報と社会Ⅱ マス・コミ特殊講義Ⅰ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ
専任	准教授	車野 智洋 (42) <平成30年4月> 博士(人間科学)	基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解) 心理学概論Ⅰ 心理学概論Ⅱ 心理学実践 心理学研究法 心理学基礎演習 心理学実践演習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 心理的アセスメントⅠ 教育・学校心理学 心理実習 心理専門職キャリア概論Ⅱ(関係行政論)
専任	講師	渡久山 清美 (51) <平成30年4月> Master of Science (Journalism)	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) 地域と平和 マス・コミ史 映像論 新聞英語Ⅰ 新聞英語Ⅱ 大衆文化論 マス・コミ特殊講義Ⅱ
専任	講師	田中 将太 (40) <平成31年4月> 修士(社会福祉学)	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力) 基礎演習Ⅱ(最速解導出力育成) 基礎演習Ⅲ(最速解導出力育成) 社会福祉原論Ⅰ 社会福祉原論Ⅱ 相談援助実習Ⅰ 相談援助実習Ⅱ 高齢者福祉論 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉運営管理論

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	高田 清恵 (46) <平成30年4月> 修士(法学)	兼任	教授	高田 清恵 (47) <平成30年4月> 修士(法学)	兼任	教授	高田 清恵 (48) <平成30年4月> 修士(法学)	兼任	教授	高田 清恵 (49) <平成30年4月> 修士(法学)	兼任	教授	高田 清恵 (50) <平成30年4月> 修士(法学)
		基礎社会保険法			基礎社会保険法 社会保険論			基礎社会保険法 社会保険論			基礎社会保険法 社会保険論			基礎社会保険法 社会保険論I
兼任	教授	金 成浩 (53) <平成30年4月> 修士(国際関係)	兼任	教授	金 成浩 (54) <平成30年4月> 修士(国際関係)	兼任	教授	金 成浩 (55) <平成30年4月> 修士(国際関係)	兼任	教授	金 成浩 (56) <平成30年4月> 修士(国際関係)	兼任	教授	金 成浩 (57) <平成30年4月> 修士(国際関係)
		国際関係史			国際関係史			国際関係史			国際関係史			国際関係史
兼任	教授	村上 三寿 (63) <平成30年4月> 学士(教育学)	兼任	教授	村上 三寿 (64) <平成30年4月> 学士(教育学)									
		琉球アジア研究概論			琉球アジア研究概論									
兼任	教授	佐久間 正夫 (60) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	佐久間 正夫 (61) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	佐久間 正夫 (62) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	佐久間 正夫 (63) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	佐久間 正夫 (64) <平成30年4月> 教育学修士
		教育原理 教育行政学 教育法			教育原理 教育行政学 教育法			教育原理 教育行政学 教育法			教育原理 教育行政学 教育法			教育行政学 教育の制度
兼任	教授	古川 卓 (50) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	古川 卓 (51) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	古川 卓 (52) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	古川 卓 (53) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	古川 卓 (54) <平成30年4月> 修士(教育学)
		心理療法論			心理学的支援法			心理学的支援法			心理学的支援法			心理学的支援法
兼任	教授	青戸 博史 (49) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	青戸 博史 (50) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	青戸 博史 (51) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	青戸 博史 (52) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	教授	青戸 博史 (53) <平成30年4月> 教育学修士
		教育の社会史			教育の社会史			教育の社会史			教育の社会史			教育の社会史
兼任	教授	上地 完治 (48) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	上地 完治 (49) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	上地 完治 (50) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	上地 完治 (51) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	上地 完治 (52) <平成30年4月> 修士(教育学)
		道徳教育の研究			道徳教育論			道徳教育論			道徳教育論			道徳教育論
						兼任	教授	新堀 都夫 (52) <平成30年4月> 修士(文学)				兼任	教授	新堀 都夫 (54) <平成30年4月> 修士(文学)
								琉球アジア研究概論				兼任	教授	琉球アジア研究概論
									兼任	教授	豊見山 和行 (63) <令和2年4月> 博士(歴史学)	兼任	教授	豊見山 和行 (64) <令和2年4月> 博士(歴史学)
											琉球アジア研究概論			琉球アジア研究概論
									兼任	教授	吉村 裕典 (66) <令和2年4月> 博士(文学)			
											琉球アジア研究概論			
									兼任	教授	大畑 太郎 (80) <令和2年4月> 教育学修士			
											琉球アジア研究概論			
兼任	准教授	呉 世宗 (42) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	呉 世宗 (43) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	呉 世宗 (44) <平成30年4月> 博士(学術)				兼任	教授	呉 世宗 (48) <令和3年4月> 博士(学術)
		琉球アジア研究概論			琉球アジア研究概論			琉球アジア研究概論						琉球アジア研究概論
兼任	准教授	金城 ひろみ (39) <平成30年4月> 修士(中国語学)	兼任	准教授	金城 ひろみ (40) <平成30年4月> 修士(中国語学)				兼任	准教授	金城 ひろみ (42) <令和2年4月> 修士(中国語学)			
		琉球アジア研究概論			琉球アジア研究概論						琉球アジア研究概論			
兼任	准教授	多和田 実 (54) <平成30年4月> 修士(数学解析)	兼任	准教授	多和田 実 (55) <平成30年4月> 修士(数学解析)	兼任	准教授	多和田 実 (56) <平成30年4月> 修士(数学解析)						
		教職入門			教職入門			教職入門						
						兼任	准教授	大浜 都子 (46) <平成30年4月> 修士(政治学)						
								琉球アジア研究概論						

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	金城 志麻 (44) <平成30年4月> 修士(人間環境学)	発達心理学 福祉心理学 障害児・障害児心理学
兼任	講師	小嶋 季輝 (31) <平成30年4月> 修士(教育学)	教育課程 教育方法
兼任	講師	大田よしみ (46) <平成30年4月> 学士(社会学)	キャリア演習Ⅰ キャリア演習Ⅱ
兼任	講師	大城信哉 (58) <平成30年4月> 文学修士	哲学原論 哲学史 倫理学原論 比較思想論
兼任	講師	安次強 勲 (51) <平成30年4月> 文学修士	世界の宗教
兼任	講師	打越 正行 (37) <平成30年4月> 博士(社会学)	教育学特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	金城 志麻 (45) <平成30年4月> 修士(人間環境学)	発達心理学 福祉心理学 障害児・障害児心理学
兼任	講師	小嶋 季輝 (32) <平成30年4月> 修士(教育学)	教育課程 教育方法
兼任	講師	大田よしみ (47) <平成30年4月> 学士(社会学)	キャリア演習Ⅰ キャリア演習Ⅱ
兼任	講師	大城信哉 (59) <平成30年4月> 文学修士	哲学原論 哲学史 倫理学原論 比較思想論
兼任	講師	安次強 勲 (52) <平成30年4月> 文学修士	世界の宗教
兼任	講師	打越 正行 (38) <平成30年4月> 博士(社会学)	教育学特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	高橋 七よ (43) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)	琉球アジア研究概論
兼任	准教授	雷山 那奈 (31) <平成30年4月> 博士(学術)	琉球アジア研究概論
兼任	講師	金城 志麻 (46) <平成30年4月> 修士(人間環境学)	発達心理学 福祉心理学 障害児・障害児心理学
兼任	講師	小嶋 季輝 (33) <平成30年4月> 修士(教育学)	教育課程 教育方法
兼任	講師	大田よしみ (48) <平成30年4月> 学士(社会学)	キャリア演習Ⅰ キャリア演習Ⅱ
兼任	講師	大城信哉 (60) <平成30年4月> 文学修士	哲学原論 倫理学原論 世界の宗教 比較思想論
兼任	講師	安次強 勲 (53) <平成30年4月> 文学修士	世界の宗教
兼任	講師	打越 正行 (39) <平成30年4月> 博士(社会学)	教育学特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	前城 洋子 (48) <令和2年4月> 修士(文学)	琉球アジア研究概論
兼任	講師	金城 志麻 (48) <平成30年4月> 修士(人間環境学)	発達心理学 福祉心理学 障害児・障害児心理学
兼任	講師	小嶋 季輝 (34) <平成30年4月> 修士(教育学)	教育課程 教育方法
兼任	講師	中村 孝葉 (34) <令和2年4月> 博士(学術)	琉球アジア研究概論
兼任	講師	大田よしみ (49) <平成30年4月> 学士(社会学)	キャリア演習Ⅰ キャリア演習Ⅱ
兼任	講師	大城信哉 (61) <平成30年4月> 文学修士	哲学原論 倫理学原論 世界の宗教 比較思想論
兼任	講師	打越 正行 (40) <平成30年4月> 博士(社会学)	教育学特論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	高橋 七よ (45) <令和3年4月> 博士(人間・環境学)	琉球アジア研究概論
兼任	准教授	雷山 那奈 (33) <令和3年4月> 博士(学術)	琉球アジア研究概論
兼任	准教授	平良 紗子 (45) <令和3年4月> 修士(文学)	琉球アジア研究概論
兼任	准教授	比嘉 良一 (55) <令和2年4月> 学士(文学)	教職入門
兼任	准教授	金城 志麻 (48) <平成30年4月> 修士(人間環境学)	発達心理学 福祉心理学 障害児・障害児心理学
兼任	准教授	岡花 新一郎 (40) <令和3年4月> 修士(教育学)	教育原理
兼任	准教授	比嘉 俊 (52) <令和3年4月> 修士(教育学)	教育課程
兼任	准教授	塚原 健太 (35) <令和3年4月> 修士(教育学)	教育方法
兼任	講師	大田よしみ (50) <平成30年4月> 学士(社会学)	キャリア演習Ⅰ キャリア演習Ⅱ
兼任	講師	大城信哉 (62) <平成30年4月> 文学修士	哲学原論 倫理学原論 世界の宗教 比較思想論
兼任	講師	打越 正行 (41) <平成30年4月> 博士(社会学)	教育学特論

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	喜屋武 幸 (62) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	講師	喜屋武 幸 (63) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	講師	喜屋武 幸 (64) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	講師	喜屋武 幸 (65) <平成30年4月> 教育学修士	兼任	講師	喜屋武 幸 (66) <平成30年4月> 教育学修士
		生徒指導			生徒指導論			生徒指導論			生徒指導論			生徒指導論
兼任	講師	上田 真弓 (47) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	上田 真弓 (48) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	上田 真弓 (49) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	上田 真弓 (50) <平成30年4月> 修士(教育学)	兼任	講師	上田 真弓 (51) <平成30年4月> 修士(教育学)
		特別活動に関する研究			特別活動論			特別活動論			特別活動論			特別活動論
兼任	講師	遠藤 直子 (51) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	遠藤 直子 (52) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	遠藤 直子 (53) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	遠藤 直子 (54) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	遠藤 直子 (55) <平成30年4月> 修士(文学)
		学習・言語心理学			学習・言語心理学			学習・言語心理学			学習・言語心理学 神経・生理心理学			学習・言語心理学 神経・生理心理学
兼任	講師	前村 奈央佳 (36) <平成30年4月> 学士(社会学)	兼任	講師	前村 奈央佳 (37) <平成30年4月> 学士(社会学)	兼任	講師	前村 奈央佳 (38) <平成30年4月> 学士(社会学)						
		文化心理学			文化心理学			文化心理学						
兼任	講師	川元 恵美子 (74) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	川元 恵美子 (75) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	川元 恵美子 (76) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	川元 恵美子 (77) <平成30年4月> 博士(学術)			
		介護概論 介護技術 人体構造及び日常生活行動 加齢と障害に関する理解			介護概論 介護技術 人体構造及び日常生活行動 加齢と障害に関する理解			介護概論 介護技術 人体構造及び日常生活行動 加齢と障害に関する理解			介護概論 介護技術 人体構造及び日常生活行動 加齢と障害に関する理解			
兼任	講師	具志堅 勝也 (62) <平成30年4月> 学士(経済)	兼任	講師	具志堅 勝也 (63) <平成30年4月> 学士(経済)	兼任	講師	具志堅 勝也 (64) <平成30年4月> 学士(経済)	兼任	講師	具志堅 勝也 (65) <平成30年4月> 学士(経済)	兼任	講師	具志堅 勝也 (66) <平成30年4月> 学士(経済)
		マス・コミ実習Ⅱ			マス・コミ実習Ⅱ			マス・コミ実習Ⅱ			マス・コミ実習Ⅱ			マス・コミ実習Ⅱ
			兼任	講師	城間 康之 (48) <平成30年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	城間 康之 (49) <平成30年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	城間 康之 (50) <平成30年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	城間 康之 (51) <平成30年4月> 修士(社会学)
					地域メディア論			地域メディア論			地域メディア論			地域メディア論
			兼任	講師	神谷 佑人 (42) <平成30年4月>									
					社会福祉運営管理論									
			兼任	講師	安藤名 豊 (41) <平成30年4月> 学士(人文学)	兼任	講師	安藤名 豊 (42) <平成30年4月> 学士(人文学)	兼任	講師	安藤名 豊 (43) <平成30年4月> 学士(人文学)	兼任	講師	安藤名 豊 (44) <平成30年4月> 学士(人文学)
					権利論・成年後見・更生保護			権利論・成年後見・更生保護			権利論・成年後見・更生保護			権利論・成年後見・更生保護
			兼任	講師	竹藤 豊 (62) <平成30年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	竹藤 豊 (63) <平成30年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	竹藤 豊 (64) <平成30年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	竹藤 豊 (65) <平成30年4月> 学士(教育学)
					権利論・成年後見・更生保護			権利論・成年後見・更生保護			権利論・成年後見・更生保護			権利論・成年後見・更生保護 社会福祉特別課程Ⅰ 社会福祉特別課程Ⅱ
			兼任	講師	堀花 慶志 (77) <平成30年4月>									
					権利論・成年後見・更生保護									
						兼任	講師	高橋 かおり (60) <平成31年4月> 学士(経済)	兼任	講師	高橋 かおり (61) <平成31年4月> 学士(経済)	兼任	講師	高橋 かおり (62) <平成31年4月> 学士(経済)
								ジェンダーの社会学			ジェンダーの社会学			ジェンダーの社会学
			兼任	講師	藤原 海 (29) <平成31年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	藤原 海 (30) <平成31年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	藤原 海 (31) <平成31年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	藤原 海 (31) <平成31年4月> 博士(社会学)
					現代社会学研究Ⅰ			現代社会学研究Ⅰ			現代社会学研究Ⅰ			現代社会学研究Ⅰ
			兼任	講師	細川 紀奈子 (41) <平成31年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	細川 紀奈子 (42) <平成31年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	細川 紀奈子 (43) <平成31年4月> 修士(経済学)	兼任	講師	細川 紀奈子 (44) <平成31年4月> 修士(経済学)
					社会調査法Ⅰ			社会調査法Ⅰ 社会調査法Ⅱ			社会調査法Ⅰ 社会調査法Ⅱ			社会調査法Ⅰ 社会調査法Ⅱ
			兼任	講師	真栄城 兼秀 (60) <平成31年10月> 修士(社会福祉)	兼任	講師	真栄城 兼秀 (61) <平成31年10月> 修士(社会福祉)	兼任	講師	真栄城 兼秀 (62) <平成31年10月> 修士(社会福祉)	兼任	講師	真栄城 兼秀 (62) <平成31年10月> 修士(社会福祉)
					権利論・成年後見・更生保護			権利論・成年後見・更生保護			権利論・成年後見・更生保護			権利論・成年後見・更生保護

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					兼任 講師 鳥塚 恭子 (40) <平成31年10月> 修士(社会学)			兼任 講師 鳥塚 恭子 (41) <平成31年10月> 修士(社会学)			兼任 講師 鳥塚 恭子 (42) <平成31年10月> 修士(社会学)
					保健医療概論			保健医療概論			保健医療概論
					兼任 講師 宮良 あさの (40) <平成31年10月> 修士(社会学)			兼任 講師 宮良 あさの (41) <平成31年10月> 修士(社会学)			兼任 講師 宮良 あさの (42) <平成31年10月> 修士(社会学)
					保健医療概論			保健医療概論			保健医療概論
					兼任 講師 保良 昌輝 (69) <平成31年10月> 修士(社会学)						
					社会福祉原論Ⅱ						
											兼任 講師 船越 裕和 (51) <令和3年4月> 学士
											生徒指導論
											兼任 講師 新 雅史 (47) <令和3年4月> 修士(社会学)
											現代社会学研究Ⅱ
											兼任 講師 久志 篤子 (61) <令和3年4月> 修士(社会学)
											介護概論 介護技術 人体構造及び日常生活行動 加齢と障害に関する理解
											兼任 講師 末吉 重人 (65) <令和3年4月> 修士(社会学)、Master of Religious Eduotion
											社会福祉特殊講義Ⅰ 社会福祉特殊講義Ⅱ
											兼任 講師 小林 学美 (55) <令和3年4月> 修士(社会学)
											社会保健論Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 『認可時又は届出時』には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・伊藤大輔准教授、他大学への転出のため就任辞退。後任として草野智洋准教授就任。
- ・白井こころ准教授、他大学への転出のため就任辞退。平成30年10月採用で専任教員公募中。
- ・授業科目の追加により、兼任講師として就任。（城間康之、神谷牧人、安慶名盛、竹藤登、垣花鷹志）

【令和元年度】

- ・加藤潤三准教授、他大学への転出のため辞任し、兼任講師として就任。後任の専任教員については、令和元年10月採用予定で公募中。
- ・白井こころ准教授の後任として田中将太講師就任。
- ・担当計画の変更により、新城郁夫、兼担教授として就任。
- ・担当計画の変更により、金城ひろみ、兼担准教授を辞任。
- ・担当計画の変更により、大浜郁子、高橋そよ、當山奈那、兼担准教授として就任。
- ・神谷牧人、垣花鷹志兼任講師辞任。
- ・科目の追加により篤森かおり、藤原海、兼任講師就任。
- ・担当計画の変更により、細川妃奈子、兼任講師就任。
- ・担当計画の変更により、真栄城兼秀、島袋恭子、宮良あさの、保良昌徳、令和元年10月兼任講師就任予定。

【令和2年度】

- ・加藤潤三准教授の後任として泊真見教授就任。
- ・鈴木良准教授、他大学への転出のため辞任。後任の専任教員については、令和2年10月採用予定で公募中。
- ・加藤潤三兼任講師辞任。
- ・担当計画の変更により、新城郁夫、兼担教授就任。
- ・担当計画の変更により、豊見山和行、大胡太郎、吉村裕美、兼担教授として就任。
- ・担当計画の変更により、呉世宗、大浜郁子、高橋そよ、當山奈那、多和田実、兼担准教授辞任。
- ・担当計画の変更により、前城順子、金城ひろみ、比嘉良一、兼担准教授として就任。
- ・担当計画の変更により、中村春菜、兼担講師として就任。
- ・安次嶺勲、前村奈央佳、保良昌徳、兼任講師辞任。

【令和3年度】

- ・遠藤光男教授、定年退職により辞任。
- ・遠藤光男、兼任講師就任。
- ・伊藤義徳准教授、教授に昇任。
- ・鈴木良准教授の後任として、破名城翔講師採用。
- ・担当計画の変更により、大胡太郎、吉村裕美、兼担教授を辞任。
- ・担当計画の変更により、新城郁夫、呉世宗、兼担教授として就任。
- ・担当計画の変更により、前城淳子、金城ひろみ、兼担准教授を辞任。
- ・担当計画の変更により、高橋そよ、當山奈那、平良妙子、兼担准教授として就任。
- ・金城志麻兼担講師、兼担准教授に昇任。
- ・担当計画の変更により、岡花祈一郎、比嘉俊、塚原健太、兼担准教授として就任。
- ・担当計画の変更により、中村春菜、兼担講師を辞任。
- ・担当計画の変更により、川元恵美子、兼担講師を辞任。
- ・担当計画の変更により、船越裕和、新雅史、久志篤子、末吉重人、小林学美、兼担講師として就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
7	11	1	0	19	0	10	6	3	0	19	0
(9)	(9)	(1)	(0)	(19)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	6	3	0	19	0	10	6	3	0	19	0
[3]	[Δ5]	[2]	[0]	[0]	[0]	[3]	[Δ5]	[2]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{19}{19} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	伊藤 大輔	H29. 8	必修	基礎演習Ⅰ（大学生基礎力）	①	他大学への転出のため就任辞退（30）		
				必修	心理学基礎演習	①			
				必修	心理学研究法	①			
				必修	心理学演習	①			
				必修	心理学課題演習	①			
				必修	卒業研究Ⅰ	①			
				必修	卒業研究Ⅱ	①			
				選択	神経・生理心理学	①			
				選択	心理アセスメントⅠ	①			
				選択	教育・学校心理学	①			
				選択	臨床心理学演習	①			
選択	臨床心理学実習	①							
選択	心理専門職キャリア概論Ⅱ	①							
2	准教授	白井 ころこ	H29. 11	必修	基礎演習Ⅱ（最適解導出力育成）	①	他大学への転出のため就任辞退（30）		
				必修	基礎演習Ⅲ（平和共生・沖縄理解）	①			
				選択	社会福祉原論Ⅰ	①			
				選択	社会福祉原論Ⅱ	②			
				選択	相談援助実習Ⅰ	①			
				選択	相談援助実習Ⅱ	①			
				選択	相談援助演習Ⅰ	①			
				選択	相談援助演習Ⅱ	①			
				選択	高齢者福祉論	①			
				選択	相談援助実習指導Ⅰ	①			
				選択	相談援助実習指導Ⅱ	①			
				選択	相談援助実習指導Ⅲ	①			
				選択	介護概論	②			
				選択	介護技術	②			
選択	保健医療概論	①							
選択	加齢と障害に関する理解	②							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	20 科目	選択	16 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	29 科目	計	25 科目	計	4 科目	計	0 科目

(注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	加藤 潤三	H31. 3	必修	基礎演習Ⅰ（大学生基礎力）	①	H29. 3. 31付け他大学へ転出のため辞任（元）
				必修	基礎演習Ⅱ（最適解導出力育成）	①	
				選択	共生社会入門	①	
				必修	心理学実験	①	
				必修	心理学基礎演習	①	
				必修	心理学課題演習	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	
				選択	心理調査概論	①	
				選択	コミュニティ心理学	①	
				選択	心理専門職キャリア概論Ⅰ（公認心理師の職責）	①	
				必修	基礎演習Ⅰ（大学生基礎力）	①	
				必修	基礎演習Ⅲ（平和共生・沖縄理解）	①	
				選択	障害者福祉論	①	
				選択	相談援助実習Ⅰ	①	
				選択	相談援助実習Ⅱ	①	
				選択	相談援助演習Ⅰ	①	
選択	相談援助演習Ⅱ	①					

2	准教授	鈴木 良	R2.3	選択	地域福祉の理論と方法	①	R2.3.31付け他大学へ転出のため辞任(2)						
				選択	公的扶助論	①							
				選択	相談援助実習指導Ⅰ	①							
				選択	相談援助実習指導Ⅱ	①							
				選択	相談援助実習指導Ⅲ	①							
				選択	就労支援サービス論	①							
				選択	福祉行財政と福祉計画	①							
合計(F)			後任補充状況の集計(G)										
辞任した教員数			担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)				
2	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	16	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	25	科目	計	25	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)											
辞任等した教員数			担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			①の合計数(a)			②の合計数(b)			③の合計数(c)		
4	人	必修	18	科目	必修	18	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	36	科目	選択	32	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	54	科目	計	50	科目	計	4	科目	計	0	科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{19} = \boxed{21.05} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	遠藤 光男	必修	基礎演習Ⅱ (最適解導出力育成)	①	R3.3.31付け65歳で定年退職 (3)			
			必修	基礎演習Ⅲ (平和共生・沖縄理解)	①				
			選択	心理学概論Ⅰ	①				
			必修	心理学実験	①				
			必修	心理学研究法	①				
			必修	心理学基礎演習	①				
			必修	心理学課題演習	①				
			必修	卒業研究Ⅰ	①				
			必修	卒業研究Ⅱ	①				
			選択	知覚・認知心理学	②				
			選択	外国文献講読Ⅱ	②				
選択	外国文献講読Ⅲ (発展)	②							
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	1 科目	選択	3 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	12 科目	計	9 科目	計	3 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 未就任のため便覧等に記載なく、学生への履修には影響なし。(伊藤大輔、白井こころ) (30) ・ 退職教員の担当科目は、他の専任教員または兼任教員で担当するため、学生の履修には影響なし。(加藤潤三) (元) ・ 退職教員の担当科目は、他の専任教員または兼任教員で担当するため、学生の履修には影響なし。(鈴木良) (2) ・ 定年退職であることはあらかじめ周知しており、学生の履修には影響なし。(遠藤光男) (3) |
|--|

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (平成29年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文社会学部 人間社会学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数	変更なし
② 施設・設備	変更なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

琉球大学人文社会学部 教育委員会

<琉球大学人文社会学部各種委員会規程(抜粋)>

(設置)

第1条 琉球大学人文社会学部(以下「本学部」という。)に、学部の管理運営を円滑に行うため、別表※に掲げる委員会(以下「各種委員会」という。)を置く。

(※ここでは委員会名称のみ記載)

- ・ 総務委員会
- ・ 予算委員会
- ・ 紀要委員会
- ・ **教育委員会**
- ・ 地域連携推進委員会
- ・ 国際交流委員会
- ・ 広報委員会
- ・ 教員養成運営委員会
- ・ 入学試験委員会
- ・ 学生支援委員会

委員は11名で構成は以下のとおり

- (1) 本学部から選出された教育研究評議会評議員
- (2) 国際法政学科の各プログラムから選出された者 各2人
- (3) 哲学・教育学プログラムから選出された者 1人
- (4) 心理学プログラムから選出された者 1人
- (5) 社会学プログラムから選出された者 2人
- (6) 琉球アジア文化学科から選出された者 2人

委員長である評議員が必要に応じて招集する。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

令和2年度は、4/17、7/8、8/12、10/14、11/11、12/9、1/13、2/10の8回開催した。

委員の参加状況は以下のとおり

- 第1回(4/17) 出席: 11名、欠席: 0名
- 第2回(7/8) 出席: 10名、欠席: 1名
- 第3回(8/12) 出席: 9名、欠席: 2名
- 第4回(10/14) 出席: 10名、欠席: 1名
- 第5回(11/11) 出席: 10名、欠席: 1名
- 第6回(12/9) 出席: 10名、欠席: 1名
- 第7回(1/13) 出席: 10名、欠席: 1名
- 第8回(2/10) 出席: 9名、欠席: 2名

- c 委員会の審議事項等
- (1) 教育課程の編成及び改善に関すること
 - (2) 学部教育に係る教育方法等の改善に関すること
 - (3) シラバスに関すること
 - (4) 成績評価の不服申立審査に関すること
 - (5) 学生による授業評価に関すること
 - (6) 共通教育等に係る授業科目の提供等に関すること
 - (7) その他教育に関すること

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法についての研究会。
- ・ 障がい学生支援やハラスメントに関する研修会。
- ・ 新任教員のための研修会（「琉球大学新任研修」）全学にて4月に実施。

b 実施方法

- ・ 教育及び研究活動をより活性化させるための方策を検討する。
- ・ 学生支援、修学支援体制の充実のための研修を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①各学科・講座におけるFD（年間通して）

内容：卒業研究レビューの実施やカリキュラムの再検討、卒業研究中間発表会など。

②ハラスメントFD研修（R1.5.22実施）34名参加

③ハラスメントFD研修（R2.11.4実施）33名参加

内容：ハラスメント相談支援センター支援員による研修。大学におけるハラスメントの事例の紹介など。

④障がい学生支援に係るFD研修（R1.9.25実施）25名参加

内容：障がい学生支援室から「合理的配慮の提供：基本的な考え方と具体例」について講演。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

該当なし。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前学期及び後学期終了前に実施（年2回）。

b 教員や学生への公開状況、方法等

該当なし。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

該当なし

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人文社会系の専門的知と学際的知を基盤に、多様な社会や文化と共生しつつ、沖縄を初めとする地域社会の持続的発展に貢献できる人材の養成が設置の趣旨である。履修プログラムへの2年次前期からの配置等により、学部共通科目、学科共通科目、プログラム専門科目を履修が可能となり、幅広い領域の知と専門分野の知の基礎を学修し、達成に向け順調に進捗している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

検討中。

b 公表方法

検討中。

③ 認証評価を受ける計画

・令和5年度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の大学機関別認証評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。